

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	基礎演習 I	馬場美和子	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

織の基本技術を学び1枚の織生地が出来上がるまでの工程を学び用途を考える。企業に就職した際、織工場へ発注依頼ができるような人材を育てる。

## 【講義概要】

①織物三原組織(平織、斜文織、朱子織)を学ぶ ②幾何学と具象をペーパーデザインし、その中から1点選び綴れ織りで表現する。③チェックのデザイン画を制作、デザイン画を元に糸計算、糸染、糸セットを行いマフラーを製織する。

## 回 授業計画及び学習の内容

- | 回 | 授業計画及び学習の内容               |
|---|---------------------------|
| 1 | 基礎演習 I ① 糸について 整経 糸染め準備   |
| 2 | 基礎演習 I ② 糸染め(シリヤス染料)      |
| 3 | 基礎演習 I ③ 機がけ              |
| 4 | 基礎演習 I ④ 製織 平織・綾織・トルコ朱子織1 |
| 5 | 基礎演習 I ⑤ 製織 平織・綾織・トルコ朱子織2 |
| 6 | 基礎演習 I ⑥ 製織 平織・綾織・トルコ朱子織3 |

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

織の基本工程や糸計算を解説。学生が各自糸セットと織り作業を行い織生地への理解を深めるようにする。

道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は織作家として活躍しており、展示販売も頻繁に行っている。

講師経歴も長いキャリアを持ち販売する際の手法や自分の作品制作を通して学生に伝えながら授業を行う

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	基礎演習Ⅱ	馬場美和子	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

織の基本技術を学び1枚の織生地が出来上がるまでの工程を学び用途を考える。企業に就職した際、織工場へ発注依頼ができるような人材を育てる。

## 【講義概要】

①織物三原組織(平織、斜文織、朱子織)を学ぶ ②幾何学と具象をペーパーデザインし、その中から1点選び綴れ織りで表現する。③チェックのデザイン画を制作、デザイン画を元に糸計算、糸染、糸セットを行いマフラーを製織する。

回	授業計画及び学習の内容	
1	基礎演習Ⅱ①	製織 ななこ織1
2	基礎演習Ⅱ②	製織 ななこ織2
3	基礎演習Ⅱ③	製織 ななこ織3
4	基礎演習Ⅱ④	製織 ワッフル1
5	基礎演習Ⅱ⑤	製織 ワッフル2
6	基礎演習Ⅱ⑥	製織 ワッフル3

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

織の基本工程や糸計算を解説。学生が各自糸セットと織り作業を行い織生地への理解を深めるようにする。

道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は織作家として活躍しており、展示販売も頻繁に行っている。

講師経験も長いキャリアを持ち販売する際の手法や自分の作品制作を通して学生に伝えながら授業を行う

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	造形基礎 I	堤嶋敏彦	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

アクセサリーに関する基礎知識と実技を通して、立体感覚を養う。生地を使ったアクセサリーを制作して、他のテキスタイル作品とトータルデザイン感覚を養う。制作した作品は学校ブランド【志 (kokorozashi)】で販売を行う。

## 【講義概要】

授業時のスライド掲載をもとに解説。各課題を実際にこなす中で実際の制作方法を通して生地を使った応用基礎を学ぶ。

## 回 授業計画及び学習の内容

- 1 造形基礎 I ① 本授業の目標、アクセサリー概論、立体を意識する(基礎実習)
- 2 造形基礎 I ② 色彩論概論、色彩WS(基礎実習、色彩イメージマップ)
- 3 造形基礎 I ③ 金具ワークの基礎実習、くるみボタンアクセサリー制作1
- 4 造形基礎 I ④ 金具ワークの基礎実習、くるみボタンアクセサリー制作2
- 5 造形基礎 I ⑤ 金具ワークの基礎実習、くるみボタンアクセサリー制作3
- 6 造形基礎 I ⑥ 金具ワークの基礎実習、くるみボタンアクセサリー制作4

7

8

9

10

11

12

13

14

15

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)20点、提出作品(作品点数)20点、提出作品(まとめ)30点、提出作品(提案)30点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義と実習を交え授業を行い基礎力から応力を学ぶことが出来る。

個人会社を立ち上げておりカバンやレザー製品の制作を行っている。縫製講師経験も豊富であり、現在もデザイン学校の講師として勤務している

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	造形基礎Ⅱ	堤嶋敏彦	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

アクセサリーに関する基礎知識と実技を通して、立体感覚を養う。生地を使ったアクセサリーを制作して、他のテキスタイル作品とトータルデザイン感覚を養う。制作した作品は学校ブランド【志 (kokorozashi)】で販売を行う。

## 【講義概要】

授業時のスライド掲載をもとに解説。各課題を実際にこなす中で実際の制作方法を通して生地を使った応用基礎を学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
---	-------------

- |    |                                    |
|----|------------------------------------|
| 1  | 造形基礎Ⅱ① 平面を立体に起こすことを基礎的に学ぶ          |
| 2  | 造形基礎Ⅱ② 平面を立体に起こすことを応用的に学ぶ1         |
| 3  | 造形基礎Ⅱ③ 平面を立体に起こすことを応用的に学ぶ2(ロゼッタ制作) |
| 4  | 造形基礎Ⅱ④ 平面を立体に起こすことを応用的に学ぶ3         |
| 5  | 造形基礎Ⅱ⑤ 平面を立体に起こすことを応用的に学ぶ4         |
| 6  | 造形基礎Ⅱ⑥ 立体を立体に起こすことを応用的に学ぶ1         |
| 7  |                                    |
| 8  |                                    |
| 9  |                                    |
| 10 |                                    |
| 11 |                                    |
| 12 |                                    |
| 13 |                                    |
| 14 |                                    |
| 15 |                                    |

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)20点、提出作品(作品点数)20点、提出作品(まとめ)30点、提出作品(提案)30点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義と実習を交え授業を行い基礎力から応力を学ぶことが出来る。

個人会社を立ち上げておりカバンやレザー製品の制作を行っている。縫製講師経験も豊富であり、現在もデザイン学校の講師として勤務している

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	造形専門Ⅱ	堤嶋敏彦	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

アクセサリーに関する基礎知識と実技を通して、立体感覚を養う。生地を使ったアクセサリーを制作して、他のテキスタイル作品とトータルデザイン感覚を養う。制作した作品は学校ブランド【志 (kokorozashi)】で販売を行う。

## 【講義概要】

授業時のスライド掲載をもとに解説。各課題を実際にこなす中で実際の制作方法を通して生地を使った応用基礎を学ぶ。

## 回 授業計画及び学習の内容

- 造形専門Ⅱ① 立体を立体に起こすことを応用的に学ぶ2
- 造形専門Ⅱ② 素材の調和を立体的に学ぶ1
- 造形専門Ⅱ③ 素材の調和を立体的に学ぶ2
- 造形専門Ⅱ④ 1アイデアをたくさん出しし説明する,2簡単なスケッチをたくさん書く 3対話する
- 造形専門Ⅱ⑤ ・マーケティング概論、ブランド概論、パッケージデザイン1
- 造形専門Ⅱ⑥ ・マーケティング概論、ブランド概論、パッケージデザイン2
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)20点、提出作品(作品点数)20点、提出作品(まとめ)30点、提出作品(提案)30点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義と実習を交え授業を行い基礎力から応力を学ぶことが出来る。

個人会社を立ち上げておりカバンやレザー製品の制作を行っている。縫製講師経験も豊富であり、現在もデザイン学校の講師として勤務している

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	特別演習 I	馬場美和子	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

織の基本技術を学び1枚の織生地が出来上がるまでの工程を学び用途を考える。企業に就職した際、織工場へ発注依頼ができるような人材を育てる。

## 【講義概要】

①織物三原組織(平織、斜文織、朱子織)を学ぶ ②幾何学と具象をペーパーデザインし、その中から1点選び綴れ織りで表現する。③チェックのデザイン画を制作、デザイン画を元に糸計算、糸染、糸セットを行いマフラーを製織する。

## 回 授業計画及び学習の内容

1	特別演習 I ①	製織 吉野織1
2	特別演習 I ②	製織 吉野織2
3	特別演習 I ③	製織 吉野織3
4	特別演習 I ④	製織 ヘリンボーン1
5	特別演習 I ⑤	製織 ヘリンボーン2
6	特別演習 I ⑥	製織 ヘリンボーン3

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

織の基本工程や糸計算を解説。学生が各自糸セットと織り作業を行い織生地への理解を深めるようにする。道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は織作家として活躍しており、展示販売も頻繁に行っている。

講師経験も長いキャリアを持ち販売する際の方法や自分の作品制作を通して学生に伝えながら授業を行う

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	特別演習Ⅱ	春日 泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

様々な染織加工方法を実習を通して学び、必要な工程と必要材料を学ぶ。各加工の特徴と生じる不具合を学び、企業で働いた際に提案できる人材を育てる。

## 【講義概要】

日本伝統工芸の三纈と草木染を実習を通して学ぶ

回	授業計画及び学習の内容		
1	特別演習Ⅱ	1	纈纈
2	特別演習Ⅱ	2	夾纈
3	特別演習Ⅱ	3	臈纈
4	特別演習Ⅱ	4	草木染 1
5	特別演習Ⅱ	5	草木染 2
6	特別演習Ⅱ	6	草木染 3

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

実習を基本としてプリント生地制作に必要な実体験を学ぶ。  
実用的な生地の使われ方や身の回りにある製品から学ぶ。

講師はプリント工場勤務経験があり、実務経験に基づいてテキスタイルデザイナー養成に向けた授業を展開することが出来る。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	造形総合演習 I	江川玲那	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

友禅の基本技術を学び友禅染の工程と図案制作を学ぶ

## 【講義概要】

授業時に配布するテキストを元に友禅の基本技術を解説、私用する糊や色を数値だけでなく体感で確認する。

回	授業計画及び学習の内容	
1	造形総合演習 I ①	サンプル制作1(ガイダンス)
2	造形総合演習 I ②	サンプル制作2友禅演習 I
3	造形総合演習 I ③	サンプル制作3友禅演習2
4	造形総合演習 I ④	サンプル制作4友禅演習3
5	造形総合演習 I ⑤	サンプル制作5友禅演習4
6	造形総合演習 I ⑥	サンプル制作6友禅演習5
7	造形総合演習 I ⑦	サンプル制作7友禅演習6
8	造形総合演習 I ⑧	サンプル制作8友禅演習7
9	造形総合演習 I ⑨	サンプル制作9友禅演習8
10	造形総合演習 I ⑩	サンプル制作10友禅演習9
11	造形総合演習 I ⑪	サンプル制作11友禅演習10
12	造形総合演習 I ⑫	サンプル制作12友禅演習11

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

実習を基本として友禅生地制作に必要な実体験を学ぶ。  
道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は友禅作家として多数の受賞歴があり、  
美術大学テキスタイルデザイン専攻を卒業後作家活動を行っている

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	造形総合演習Ⅱ	江川玲那	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

友禅の基本技術を学び友禅染の工程と図案制作を学ぶ

## 【講義概要】

授業時に配布するテキストを元に友禅の基本技術を解説、私用する糊や色を数値だけでなく体感で確認する。

回	授業計画及び学習の内容		
1	造形総合演習Ⅱ①	パネル作品制作	①
2	造形総合演習Ⅱ②	パネル作品制作	②
3	造形総合演習Ⅱ③	パネル作品制作	③
4	造形総合演習Ⅱ④	パネル作品制作	④
5	造形総合演習Ⅱ⑤	パネル作品制作	⑤
6	造形総合演習Ⅱ⑥	パネル作品制作	⑥
7	造形総合演習Ⅱ⑦	パネル作品制作	⑦
8	造形総合演習Ⅱ⑧	パネル作品制作	⑧
9	造形総合演習Ⅱ⑨	パネル作品制作	⑨
10	造形総合演習Ⅱ⑩	パネル作品制作	⑩
11	造形総合演習Ⅱ⑪	パネル作品制作	⑪
12	造形総合演習Ⅱ⑫	パネル作品制作	⑫

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

実習を基本として友禅生地制作に必要な実体験を学ぶ。  
道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は友禅作家として多数の受賞歴があり、  
美術大学テキスタイルデザイン専攻を卒業後作家活動を行っている

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	修了演習	江川玲那	3単位 45時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

友禅の基本技術を学び友禅染の工程と図案制作を学ぶ

## 【講義概要】

授業時に配布するテキストを元に友禅の基本技術を解説、私用する糊や色を数値だけでなく体感で確認する。

## 回 | 授業計画及び学習の内容

- |   |      |   |
|---|------|---|
| 1 | 修了演習 | ① |
| 2 | 修了演習 | ② |
| 3 | 修了演習 | ③ |
| 4 | 修了演習 | ④ |
| 5 | 修了演習 | ⑤ |
| 6 | 修了演習 | ⑥ |
| 7 | 修了演習 | ⑦ |
| 8 | 修了演習 | ⑧ |
| 9 | 修了演習 | ⑨ |

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

実習を基本として友禅生地制作に必要な実体験を学ぶ。  
道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は友禅作家として多数の受賞歴があり、  
美術大学テキスタイルデザイン専攻を卒業後作家活動を行っている

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	ライフデザイン I	春日泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

各種イベントに参加し授業の過ごし方や年間スケジュールを把握する

## 【講義概要】

ガイダンスで配布するテキストをもとに運営

回	授業計画及び学習の内容			
1	ライフデザイン I	①	グループワーク	1
2	ライフデザイン I	②	グループワーク	2
3	ライフデザイン I	③	グループワーク	3
4	ライフデザイン I	④	グループワーク	4
5	ライフデザイン I	⑤	グループワーク	5
6	ライフデザイン I	⑥	グループワーク	6

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

実習を基本として友禅生地制作に必要な実体験を学ぶ。  
道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は友禅作家として多数の受賞歴があり、  
講師経験も長いキャリアを持ち作家としての考えや作品を作る上で大切なことを教えながら授業を行うことができる。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	ライフデザインⅡ	春日泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

各種イベントに参加し授業の過ごし方や年間スケジュールを把握する

## 【講義概要】

ガイダンスで配布するテキストをもとに運営

回	授業計画及び学習の内容			
1	ライフデザインⅡ	①	グループワーク	1
2	ライフデザインⅡ	②	グループワーク	2
3	ライフデザインⅡ	③	グループワーク	3
4	ライフデザインⅡ	④	グループワーク	4
5	ライフデザインⅡ	⑤	グループワーク	5
6	ライフデザインⅡ	⑥	グループワーク	6

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点  
提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

実習を基本として友禅生地制作に必要な実体験を学ぶ。  
道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は友禅作家として多数の受賞歴があり、  
講師経験も長いキャリアを持ち作家としての考えや作品を作る上で大切なことを教えながら授業を行うことができる。

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	デザイン I 基礎	春日 泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

オリジナルで制作したデザイン画を生地プリント。データ作成から版制作、生地の選定、プリントと仕上げまでを学ぶ。実際の生地にプリントすることで、プリント柄の見え方や製品になった際の不具合や色の選定を学ぶ。企業に就職した際、プリント工場へ発注依頼できるような人材を育てる。

## 【講義概要】

データ作成、版制作、プリント方法を解説。作業時における注意点を気を付けながら実習。

30cm×30cmのデザイン画(2色)を四方送りしたプリントを制作。

回	授業計画及び学習の内容		
1	デザイン I 基礎 ①	ハーフステップを利用したデザイン画をプリント。生地使用用途を決めてデザイン画作成	
2	デザイン I 基礎 ②	デザイン画制作	1
3	デザイン I 基礎 ③	デザイン画制作	2
4	デザイン I 基礎 ④	デザイン画制作	3
5	デザイン I 基礎 ⑤	デザイン画制作	4
6	デザイン I 基礎 ⑥	デザイン画制作	5

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

最初から最後まで自分の手を使って作業します。自分の手を使い体験することで生きた知識として今後活用することができます。

担当教員は婦人服企画職とプリント工場に働いていた実務経験があり、デザイン面と実技面の両面から授業を行うことが出来る。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	デザインⅡ基礎	春日 泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

オリジナルで制作したデザイン画を生地にプリント。データ作成から版制作、生地を選定、プリントと仕上げまでを学ぶ。実際の生地にプリントすることで、プリント柄の見え方や製品になった際の不具合や色の選定を学ぶ。企業に就職した際、プリント工場へ発注依頼できるような人材を育てる。

## 【講義概要】

データ作成、版制作、プリント方法を解説。作業時における注意点を気を付けながら実習。  
デザイン基礎Ⅰで制作したデザインをもとにデータ制作・版制作を行う

回	授業計画及び学習の内容			
1	デザインⅡ基礎	①	版下用データ制作	1
2	デザインⅡ基礎	②	版下用データ制作	2
3	デザインⅡ基礎	③	版下用データ制作	3
4	デザインⅡ基礎	④	版制作・製版	1
5	デザインⅡ基礎	⑤	版制作・製版	2
6	デザインⅡ基礎	⑥	版制作・製版	3

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

最初から最後まで自分の手を使って作業します。自分の手を使い体験することで生きた知識として今後活用することができます。

担当教員は婦人服企画職とプリント工場で働いていた実務経験があり、デザイン面と実技面の両面から授業を行うことが出来る。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	デザインⅢ基礎	春日 泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

オリジナルで制作したデザイン画を生地にプリント。データ作成から版制作、生地を選定、プリントと仕上げまでを学ぶ。実際の生地にプリントすることで、プリント柄の見え方や製品になった際の不具合や色の選定を学ぶ。企業に就職した際、プリント工場へ発注依頼できるような人材を育てる。

## 【講義概要】

デザイン基礎Ⅰ・Ⅱで制作した版をもとに生地にプリントを行う

回	授業計画及び学習の内容			
1	デザインⅢ基礎	①	色実験	1
2	デザインⅢ基礎	②	色実験	2
3	デザインⅢ基礎	③	捺染	1
4	デザインⅢ基礎	④	捺染	2
5	デザインⅢ基礎	⑤	整理加工	1
6	デザインⅢ基礎	⑥	プレゼンテーション	1

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

最初から最後まで自分の手を使って作業します。自分の手を使い体験することで生きた知識として今後活用することができます。

担当教員は婦人服企画職とプリント工場で働いていた実務経験があり、デザイン面と実技面の両面から授業を行うことが出来る。

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	デザインⅣ基礎	春日 泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

オリジナルで制作したデザイン画を生地にプリント。データ作成から版制作、生地を選定、プリントと仕上げまでを学ぶ。実際の生地にプリントすることで、プリント柄の見え方や製品になった際の不具合や色の選定を学ぶ。企業に就職した際、プリント工場へ発注依頼できるような人材を育てる。

## 【講義概要】

- ①店舗に展示するの暖簾を制作
- ②エスニックをテーマにプリント生地を制作(3色)
- ①・②を選択しプリント生地制作を行う

回	授業計画及び学習の内容	
1	デザインⅣ基礎	① 店舗調査 ② 市場調査
2	デザインⅣ基礎	① 調査資料をもとにデザイン制作 ② 調査資料をもとにデザイン制作
3	デザインⅣ基礎	① データ制作 ② データ制作
4	デザインⅣ基礎	① 版制作 ② 版制作
5	デザインⅣ基礎	① 捺染 ② 捺染
6	デザインⅣ基礎	① 店舗に展示 ② 資料をまとめて提出

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

最初から最後まで自分の手を使って作業します。自分の手を使い体験することで生きた知識として今後活用することができます。

担当教員は婦人服企画職とプリント工場で働いていた実務経験があり、デザイン面と実技面の両面から授業を行うことが出来る。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	課題研究 I	柳田青委	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

デザインの現場で使用するソフトの習得をする。ここで習得した技術と知識を使い他授業のデザイン制作やデザインデータ作成に活かす。また後期授業では就職活動に必要とされるポートフォリオを作成し企業面接等で活用する。

## 【講義概要】

デザイン用アプリadobeのIllustratorとPhotoshopを主に使用。教員から与えられた課題をもとに写真の加工やデザインデータ作成を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	photoshopの基本操作1
2	photoshopの基本操作2
3	photoshopの基本操作3
4	Illustratorの基本操作1
5	Illustratorの基本操作2
6	Illustratorの基本操作3 上記ソフトを使って応用作品制作
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

1人1台Macintoshのパソコンを使用。学校管理で学生個人アカウントを使いadobeと契約するため、自宅や学校外の場所でもadobeソフトを使うことができる。

担当教員は美術大学グラフィックデザイン科を卒業後、デザイン事務所で勤務現在はフリーランスのデザイナーとして活躍している。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	課題研究Ⅱ	萱沼大喜	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ①学生作品の写真撮影と撮影した写真の加工方法を学ぶ、ここで制作したデータは学校ブランド【志-kokorozashi-】に掲載
- ②作品写真をまとめポートフォリオ制作、就職活動に活用する

## 【講義概要】

撮影ボックスを使い作品の物撮りと野外撮影を行う、サイトに掲載する際の注意点やポートフォリオのまとめ方を伝える

回	授業計画及び学習の内容
1	作品撮影 1
2	作品撮影 2
3	サイト掲載
4	ポートフォリオ 1
5	ポートフォリオ 2
6	ポートフォリオ 3
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

1人1台Machintoshのパソコンを使用。学校管理で学生個人アカウントを使いadobeと契約するため、自宅や学校外の場所でもadobeソフトを使うことができる

担当教員は美術大学グラフィックデザイン科を卒業後、デザイン事務所で勤務現在はフリーランスのデザイナーとして活躍している

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	技法材料研究 I	春日 泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

様々な染織加工方法を実習を通して学び、特殊加工に必要な工程と必要材料を学ぶ。各加工の特徴と生じる不具合を学び、企業で働いた際に提案できる人材を育てる。

## 【講義概要】

- ①特殊加工を施したサンプルを毎回制作、サンプル制作期間終了後ファイリングを行う。
- ②ファイリングした加工方法の中から各自目指すテキスタイルをデザイン。3m長さ程度のオリジナルテキスタイルを制作。
- ③制作した生地と使用場面・コンセプトをまとめたデータを制作。最終日プレゼンテーションを行う。

回	授業計画及び学習の内容		
1	技法材料研究 I	1	ガイダンス
2	技法材料研究 I	2	デザイン画制作1
3	技法材料研究 I	3	デザイン画制作2
4	技法材料研究 I	4	デザイン画制作3
5	技法材料研究 I	5	綿・麻の加工1顔料プリント(白生地用・色生地用)生地持込みOK
6	技法材料研究 I	6	綿・麻の加工2発泡プリント パールプリント

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点  
提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

実習を基本としてプリント生地制作に必要な実体験を学ぶ。  
実用的な生地の使われ方や身の回りにある製品から学ぶ。

講師はプリント工場勤務経験があり、実務経験に基づいてテキスタイルデザイナー養成に向けた授業を展開することが出来る。

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	技法材料研究Ⅱ	春日 泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

様々な染織加工方法を実習を通して学び、特殊加工に必要な工程と必要材料を学ぶ。各加工の特徴と生じる不具合を学び、企業で働いた際に提案できる人材を育てる。

## 【講義概要】

- ①特殊加工を施したサンプルを毎回制作、サンプル制作期間終了後ファイリングを行う。
- ②ファイリングした加工方法の中から各自目指すテキスタイルをデザイン。3m長さ程度のオリジナルテキスタイルを制作。
- ③制作した生地と使用場面・コンセプトをまとめたデータを制作。最終日プレゼンテーションを行う。

## 回

## 授業計画及び学習の内容

1	技法材料研究Ⅱ	1	綿・麻の加工3箔プリント・フロッキープリント
2	技法材料研究Ⅱ	2	綿・麻の加工4抜染プリント(4-1)抜染生地を染める 白色抜染・着色抜染
3	技法材料研究Ⅱ	3	綿・麻の加工5抜染プリント(4-2)プリント→蒸し→洗い
4	技法材料研究Ⅱ	4	綿・麻の加工6防染プリント 白色防染・着色防染
5	技法材料研究Ⅱ	5	綿・ポリエステル加工1オパール加工 無色オパール、着色オパール
6	技法材料研究Ⅱ	6	ポリエステルの加工1 熱可塑性、転写プリント

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点  
提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

実習を基本としてプリント生地制作に必要な実体験を学ぶ。  
実用的な生地の使われ方や身の回りにある製品から学ぶ。

講師はプリント工場勤務経験があり、実務経験に基づいてテキスタイルデザイナー養成に向けた授業を展開することが出来る。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	プロジェクト研究 I	東 重美	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

繊維の知識を学び就職することで企画立案できる人材を育成する

## 【講義概要】

繊維の書籍、生地見本を使い繊維の特性と特徴を学ぶ

回	授業計画及び学習の内容			
1	プロジェクト研究 I	1	植物性繊維の知識	1
2	プロジェクト研究 I	2	植物性繊維の知識	2
3	プロジェクト研究 I	3	動物性繊維の知識	1
4	プロジェクト研究 I	4	動物性繊維の知識	2
5	プロジェクト研究 I	5	化学繊維の知識	1
6	プロジェクト研究 I	6	化学繊維の知識	2

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

配布したテキストを元に説明。繰り返し資料請求をまとめる作業を行い、最終作り上げた内容を授業内でプレゼンテーションを行う。

国内で行われている生地の展示会に訪問して実際のテキスタイル業務の内容を学ぶ

実務経験が長く現在もデザイン現場で働いており、今の情報や仕事を伝えることができる。またサンプルも所持しており学生が制作したい衣服の要望に応えることができる。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	素材演習 I	馬場美和子	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

織技法使いオリジナルマフラーを制作する。制作したマフラーは写真撮影を行いポートフォリオへ活用する。マフラーを織る際の注意点や工程を実習を通して学ぶ

## 【講義概要】

- ①配色構成 様々な色のバリエーションを企画する
- ②ウールの染色の方法 企画した配色の中から1案を選定しウールの糸を染める

回	授業計画及び学習の内容		
1	素材演習 I	1	ガイダンス
2	素材演習 I	2	配色構成 1
3	素材演習 I	3	配色構成 2
4	素材演習 I	4	糸計算
5	素材演習 I	5	ウールの染色 1
6	素材演習 I	6	ウールの染色 2

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

自分で染色した糸を使って、オリジナルテキスタイル制作を行う

道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は織作家として活躍しており、展示販売も頻繁に行っている。

講師経験も長いキャリアを持ち販売する際の方法や自分の作品制作を通して学生に伝えながら授業を行う

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	素材演習Ⅱ	馬場美和子	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

織技法使いオリジナルマフラーを制作する。制作したマフラーは写真撮影を行いポートフォリオへ活用する。マフラーを織る際の注意点や工程を実習を通して学ぶ

## 【講義概要】

- ①配色構成 様々な色のバリエーションを企画する
- ②ウールの染色の方法 企画した配色の中から1案を選定しウールの糸を染める
- ③染色したいとを使ってマフラー制作を行う

回	授業計画及び学習の内容			
1	素材演習Ⅱ	1	製織	1
2	素材演習Ⅱ	2	製織	2
3	素材演習Ⅱ	3	製織	3
4	素材演習Ⅱ	4	製織	4
5	素材演習Ⅱ	5	整理・加工	風合いだし
6	素材演習Ⅱ	6	プレゼンテーション	

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

自分で染色した糸を使って、オリジナルテキスタイル制作を行う

道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は織作家として活躍しており、展示販売も頻繁に行っている。

講師経歴も長いキャリアを持ち販売する際の手法や自分の作品制作を通して学生に伝えながら授業を行う

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	造形専門演習 I	馬場美和子	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

大機を使い作品制作を行い織機の構造を学ぶとともに糸のセット方法を学ぶ

## 【講義概要】

①大機の構造解説 ②糸セットの方法 ③糸トラブルの解決方法

回	授業計画及び学習の内容		
1	造形専門演習 I	1	構造解説
2	造形専門演習 I	2	糸セット
3	造形専門演習 I	3	テスト
4	造形専門演習 I	4	製織 1
5	造形専門演習 I	5	製織 2
6	造形専門演習 I	6	製織 3

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

自分で染色した糸を使って、オリジナルテキスタイル制作を行う

道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は織作家として活躍しており、展示販売も頻繁に行っている。

講師経験も長いキャリアを持ち販売する際の手法や自分の作品制作を通して学生に伝えながら授業を行う

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	構成演習 I	東 重美	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

企画の基本となるプランニング方法や資料請求のまとめ方を学ぶ。簡潔に事柄を伝えることを習得して、デザイナーとしてひつよなスキルを身に付ける。

## 【講義概要】

①企画書作成 テーマを選択して各自企画をまとめ企画書を作る。②マーケティングリサーチ リサーチした内容をまとめリサーチマップをつくる。③企画マップ作成 生地や写真を使い資料をまとめ企画マップをつくる。企画書に適した言葉使いは手法は日々変化する、雑誌やCMのキャッチコピーなどファッションだけでなくシャイの情勢などデザイナーに必要な事柄を意識しながらアンテナを広げる術を伝える

回	授業計画及び学習の内容		
1	構成演習 I	1	企画の立て方、企画書の作り方 1
2	構成演習 I	2	企画の立て方、企画書の作り方 2
3	構成演習 I	3	市場調査 1
4	構成演習 I	4	市場調査 2
5	構成演習 I	5	市場調査 3
6	構成演習 I	6	市場調査 4

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点  
提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

配布したテキストを元に説明。繰り返し資料請求をまとめる作業を行い、最終作り上げた内容を授業内でプレゼンテーションを行う。

国内で行われている生地の展示会に訪問して実際のテキスタイル業務の内容を学ぶ

実務経験が長く現在もデザイン現場で働いており、今の情報や仕事を伝えることができる。またサンプルも所持しており学生が制作したい衣服の要望に応えることができる。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	構成演習Ⅱ	東 重美	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

企画の基本となるプランニング方法や資料請求のまとめ方を学ぶ。簡潔に事柄を伝えることを習得して、デザイナーとしてひつよなスキルを身に付ける。

## 【講義概要】

①企画書作成 テーマを選択して各自企画をまとめ企画書を作る。②マーケティングリサーチ リサーチした内容をまとめリサーチマップをつくる。③企画マップ作成 生地や写真を使い資料をまとめ企画マップをつくる。企画書に適した言葉使いは手法は日々変化する、雑誌やCMのキャッチコピーなどファッションだけでなくシャイの情勢などデザイナーに必要な事柄を意識しながらアンテナを広げる術を伝える

回	授業計画及び学習の内容			
1	構成演習Ⅱ	1	企画書制作	1
2	構成演習Ⅱ	2	企画書制作	2
3	構成演習Ⅱ	3	企画書制作	3
4	構成演習Ⅱ	4	ブラッシュアップ	1
5	構成演習Ⅱ	5	ブラッシュアップ	2
6	構成演習Ⅱ	6	発表	

上記の作業を繰り返し行い、企画の立て方と考え方を身に付ける

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

配布したテキストを元に説明。繰り返し資料請求をまとめる作業を行い、最終作り上げた内容を授業内でプレゼンテーションを行う。

国内で行われている生地の展示会に訪問して実際のテキスタイル業務の内容を学ぶ

実務経験が長く現在もデザイン現場で働いており、今の情報や仕事を伝えることができる。またサンプルも所持しており学生が制作したい衣服の要望に応えることができる。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	特別演習Ⅲ	馬場美和子	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

オリジナルクッションの作成のためにクッションに使われているテキスタイルの特性や市場動向を学ぶ

## 【講義概要】

①市場調査 ②プレゼンテーションボードの作成

回	授業計画及び学習の内容		
1	特別演習Ⅲ	1	ガイダンス
2	特別演習Ⅲ	2	市場調査 1
3	特別演習Ⅲ	3	市場調査 2
4	特別演習Ⅲ	4	企画 1
5	特別演習Ⅲ	5	企画 2
6	特別演習Ⅲ	6	企画 3

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

市場調査を行い企画立案までを実践を通して学ぶ

講師は織作家として活躍しており、展示販売も頻繁に行っている。

講師経験も長いキャリアを持ち販売する際の方法や自分の作品制作を通して学生に伝えながら授業を行う

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	特別演習Ⅳ	馬場美和子	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

特別演習Ⅲでまとめた企画をもとにクッション用のテキスタイルを制作する

## 【講義概要】

①企画をもとに組織の選定②糸計算③糸染色④織機セット⑤製織⑥作品撮影

回	授業計画及び学習の内容			
1	特別演習Ⅳ	1	ウール染色	1
2	特別演習Ⅳ	2	ウール染色	2
3	特別演習Ⅳ	3	製織	1
4	特別演習Ⅳ	4	製織	2
5	特別演習Ⅳ	5	製織	3
6	特別演習Ⅳ	6	製織	4

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

市場調査を行い企画立案までを実践を通して学ぶ

講師は織作家として活躍しており、展示販売も頻繁に行っている。

講師経験も長いキャリアを持ち販売する際の方法や自分の作品制作を通して学生に伝えながら授業を行う

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	造形総合演習Ⅲ	安藤タヅ子	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

古典模索を行い先人の色彩と画面構成、手の動きを学ぶ

## 【講義概要】

加賀友禅等の古典作品を選び模写を行う、退色してしまった色や画面から外れた箇所は想像しながら制作する

回	授業計画及び学習の内容		
1	造形総合演習Ⅲ	1	作品選定
2	造形総合演習Ⅲ	2	実習 下書き 1
3	造形総合演習Ⅲ	3	実習 下書き 2
4	造形総合演習Ⅲ	4	実習糊置き 1
5	造形総合演習Ⅲ	5	実習糊置き 2
6	造形総合演習Ⅲ	6	実習糊置き 3
7	造形総合演習Ⅲ	7	実習色挿し 1
8	造形総合演習Ⅲ	8	実習色挿し 2
9	造形総合演習Ⅲ	9	実習色挿し 3
10	造形総合演習Ⅲ	10	実習色挿し 4
11	造形総合演習Ⅲ	11	洗い
12	造形総合演習Ⅲ	12	仕上げ

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点  
提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

古典作品を通して知識と技術を実習を通して行う

講師は友禅作家として多数の受賞歴があり、

講師経験も長いキャリアを持ち作家としての考えや作品を作る上で大切なことを教えながら授業を行うことが出来る。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	造形総合演習Ⅳ	安藤タヅ子	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

帯制作を行い友禅の技法と手順を自分のものとする

## 【講義概要】

5mの帯を制作 柄の箇所や表現技法を学び、不具合が出た際のリカバリーを考える 大きな作品を作る際の体の動きや道具の配置を学ぶ

回	授業計画及び学習の内容			
1	造形総合演習Ⅳ	1	図案制作	1
2	造形総合演習Ⅳ	2	図案制作	2
3	造形総合演習Ⅳ	3	図案制作	3
4	造形総合演習Ⅳ	4	糊置き	1
5	造形総合演習Ⅳ	5	糊置き	2
6	造形総合演習Ⅳ	6	糊置き	3
7	造形総合演習Ⅳ	7	色挿し	1
8	造形総合演習Ⅳ	8	色挿し	2
9	造形総合演習Ⅳ	9	色挿し	3
10	造形総合演習Ⅳ	10	色挿し	4
11	造形総合演習Ⅳ	11	色挿し	5
12	造形総合演習Ⅳ	12	完成	

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点 提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

5mの大きさの帯生地を制作 在学中に最も大きな作品制作を行う

講師は友禅作家として多数の受賞歴があり、

講師経歴も長いキャリアを持ち作家としての考えや作品を作る上で大切なことを教えるから授業を待つことが出来る。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	造形表現 I	堤嶋敏彦	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

1年次に制作した作品を使いオリジナル製品を制作する テキスタイル制作から製品制作を行うことで工程方法を学びテキスタイルから製品が企画できる人材育成を行う

## 【講義概要】

パターンの起こし方の基礎と応用を行いオリジナルの造形を作る工程を学ぶ

回	授業計画及び学習の内容		
1	造形表現 I	1 古着を解体しパーツ分けを行う	1
2	造形表現 I	2 古着を解体しパーツ分けを行う	2
3	造形表現 I	3 古着を解体しパーツ分けを行う	3
4	造形表現 I	4 解体したパーツからパターンを起こす	1
5	造形表現 I	5 解体したパーツからパターンを起こす	2
6	造形表現 I	6 解体したパーツからパターンを起こす	3
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)20点、提出作品(作品点数)20点、提出作品(まとめ)30点、提出作品(提案)30点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義と実習を交え授業を行い基礎力から応力を学ぶことが出来る。

実務経験があり、現在も代表取締役兼デザイナーとして働いている。企画を物創りの視点と企画側の視点、両方から解説することが出来る。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	造形表現Ⅱ	堤嶋敏彦	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

1年次に制作した作品を使いオリジナル製品を制作する テキスタイル制作から製品制作を行うことで工程方法を学びテキスタイルから製品が企画できる人材育成を行う

## 【講義概要】

制作した生地を製品にすることで変化と見え方の違いを実感する

回	授業計画及び学習の内容	
1	造形表現Ⅱ 1	1
2	造形表現Ⅱ 2	2
3	造形表現Ⅱ 3	3
4	造形表現Ⅱ 4	1
5	造形表現Ⅱ 5	2
6	造形表現Ⅱ 6	3
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)20点、提出作品(作品点数)20点、提出作品(まとめ)30点、提出作品(提案)30点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義と実習を交え授業を行い基礎力から応力を学ぶことが出来る。

実務経験があり、現在も代表取締役兼デザイナーとして働いている。企画を物創りの視点と企画側の視点、両方から解説することが出来る。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	キャリアデザイン I	春日泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

グループワークを学び社会性を学ぶ

## 【講義概要】

イベントに対して役割分担を行い実施する

回	授業計画及び学習の内容			
1	キャリアデザイン I	①	グループワーク	1
2	キャリアデザイン I	②	グループワーク	2
3	キャリアデザイン I	③	グループワーク	3
4	キャリアデザイン I	④	グループワーク	4
5	キャリアデザイン I	⑤	グループワーク	5
6	キャリアデザイン I	⑥	グループワーク	6

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

実習を基本として友禅生地制作に必要な実体験を学ぶ。  
道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は友禅作家として多数の受賞歴があり、  
講師経験も長いキャリアを持ち作家としての考えや作品を作る上で大切なことを教えながら授業を行うことができる。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	キャリアデザインⅡ	春日泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

グループワークを学び社会性を学ぶ

## 【講義概要】

イベントに対して役割分担を行い実施する

回	授業計画及び学習の内容			
1	キャリアデザインⅡ	①	グループワーク	1
2	キャリアデザインⅡ	②	グループワーク	2
3	キャリアデザインⅡ	③	グループワーク	3
4	キャリアデザインⅡ	④	グループワーク	4
5	キャリアデザインⅡ	⑤	グループワーク	5
6	キャリアデザインⅡ	⑥	グループワーク	6

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

実習を基本として友禅生地制作に必要な実体験を学ぶ。  
道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は友禅作家として多数の受賞歴があり、  
講師経験も長いキャリアを持ち作家としての考えや作品を作る上で大切なことを教えながら授業を行うことができる。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	卒業演習	馬場美和子	6単位 90時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

教員から提案された課題でなく自分でテーマを見つけ、作品制作を行うことで洗練された作品コンセプトを作る。作品制作だけでなくプレゼンテーション、仕器も含めた展示方法を考え発表することで作品制作の行く末や学校外からの評価を体験。卒業してからの活動手本として、この授業を活用する。

## 【講義概要】

スケジュール概要を説明。各自作品制作。後期半年間の制作に見合う作品を提出。  
プリント・織生地・友禅等デザイン違いで3点以上。  
きもの場合は、完成形を1点以上。  
コンセプトをまとめたデータ等、展示用物品の制作。

回	授業計画及び学習の内容	
1	卒業演習	ガイダンス
2	卒業演習	スケジュール表作成
3 - 5	卒業演習	デザイン提案
6 - 8	卒業演習	実験
9 - 15	卒業演習	本番制作、展示方法立案
16	卒業演習	展示備品他ポップ制作
17	卒業演習	展示
18	卒業演習	作品プレゼンテーション

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点  
提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

織の基本工程や糸計算を解説。学生が各自糸セットと織り作業を行い織生地への理解を深めるようにする。

道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は織作家として活躍しており、展示販売も頻繁に行っている。

講師経験も長いキャリアを持ち販売する際の方法や自分の作品制作を通して学生に伝えながら授業を行う

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	就職対策 I	春日泰浩	2単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

就職活動、アーティスト活動のために必要な履歴書、模擬面接、自己分析を行い、自己理解能力を身に着ける。就職ではコミュニケーション力が必要なため模擬面接を繰り返し行い対策する

## 【講義概要】

企業情報・職種理解、職務内容の理解を深めるために資料を配布

回	授業計画及び学習の内容	
1	就職対策 I ①	オリエンテーション・企業情報
2	就職対策 I ②	履歴書の書き方・職種説明
3	就職対策 I ③	自己分析
4	就職対策 I ④	模擬面接、企業説明会
5	就職対策 I ⑤	模擬面接
6	就職対策 I ⑥	模擬面接(グループワーク)

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

配布したテキストをもとに説明、模擬面接(グループワーク)では他者のプレゼンテーションを見学・分析・評価を行うことで自分への振り返りとして身に着ける

講師はアパレル企業の企画、縫製会社で働いた実務経験をもとに授業を展開する

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	就職対策Ⅱ	春日泰浩	2単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

就職活動、アーティスト活動のために必要な履歴書、模擬面接、自己分析を行い、自己理解能力を身に着ける。就職ではコミュニケーション力が必要なため模擬面接を繰り返し行い対策する

## 【講義概要】

企業情報・職種理解、職務内容の理解を深めるために資料を配布

回	授業計画及び学習の内容	
1	就職対策Ⅰ ①	オリエンテーション・企業情報
2	就職対策Ⅰ ②	履歴書の書き方・職種説明
3	就職対策Ⅰ ③	自己分析
4	就職対策Ⅰ ④	模擬面接、企業説明会
5	就職対策Ⅰ ⑤	模擬面接
6	就職対策Ⅰ ⑥	模擬面接(グループワーク)

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

配布したテキストをもとに説明、模擬面接(グループワーク)では他者のプレゼンテーションを見学・分析・評価を行うことで自分への振り返りとして身に着ける

講師はアパレル企業の企画、縫製会社で働いた実務経験をもとに授業を展開する

## 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	課題研究Ⅲ	春日泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

教員から提案された課題でなく自分でテーマを見つけ、作品制作を行うことで洗練された作品コンセプトを作る。作品制作だけでなくプレゼンテーション、仕器も含めた展示方法を考え発表することで作品制作の行く末や学校外からの評価を体験。卒業してからの活動手本として、この授業を活用する。

## 【講義概要】

スケジュール概要を説明。各自作品制作。後期半年間の制作に見合う作品を提出。  
プリント・織生地・友禅等デザイン違いで3点以上。  
きもの場合は、完成形を1点以上。  
コンセプトをまとめたデータ等、展示用物品の制作。

回	授業計画及び学習の内容
1	ガイダンス
2	スケジュール表作成
3	デザイン提案
4	デザイン提案
5	デザイン提案
6	実験
7	実験
8	実験
9	本番制作
10	本番制作
11	本番制作
12	展示方法を考える
13	ポップ制作
14	展示
15	プレゼンテーション

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

スケジュール概要、展示点数等を初日授業で告知。作品コンセプトを考え、スケジュールを提出。実験、修正を繰り返し本番用テキスタイルを制作。シャツやバッグといった製品提案の場合は制作した生地を裁断縫製して製品化する。授業最終日プレゼンテーションを行い各講師から意見を聞き、作品手直しや展示方法の再検討を行う。制作した作品はギャラリー等で展示(予定)。来場者への作品説明を行うことで、プレゼンテーションを実体験として学ぶ。

担当教員は婦人服企画職とプリント工場で働いていた実務経験があり、実技面と展示面の両方を教えることが出来る

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	課題研究Ⅲ	馬場美和子	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

教員から提案された課題でなく自分でテーマを見つけ、作品制作を行うことで洗練された作品コンセプトを作る。作品制作だけでなくプレゼンテーション、仕器も含めた展示方法を考え発表することで作品制作の行く末や学校外からの評価を体験。卒業してからの活動手本として、この授業を活用する。

## 【講義概要】

スケジュール概要を説明。各自作品制作。後期半年間の制作に見合う作品を提出。  
プリント・織生地・友禅等デザイン違いで3点以上。  
きもの場合は、完成形を1点以上。  
コンセプトをまとめたデータ等、展示用物品の制作。

回	授業計画及び学習の内容	
1	卒業演習	ガイダンス
2	卒業演習	スケジュール表作成
3 - 5	卒業演習	デザイン提案
6 - 8	卒業演習	実験
9 - 15	卒業演習	本番制作、展示方法立案
16	卒業演習	展示備品他ポップ制作
17	卒業演習	展示
18	卒業演習	作品プレゼンテーション

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点  
提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

織の基本工程や糸計算を解説。学生が各自糸セットと織り作業を行い織生地への理解を深めるようにする。  
道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は織作家として活躍しており、展示販売も頻繁に行っている。

講師経験も長いキャリアを持ち販売する際の手法や自分の作品制作を通して学生に伝えながら授業を行う

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	課題研究Ⅳ	馬場美和子	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

教員から提案された課題でなく自分でテーマを見つけ、作品制作を行うことで洗練された作品コンセプトを作る。作品制作だけでなくプレゼンテーション、仕器も含めた展示方法を考え発表することで作品制作の行く末や学校外からの評価を体験。卒業してからの活動手本として、この授業を活用する。

## 【講義概要】

スケジュール概要を説明。各自作品制作。後期半年間の制作に見合う作品を提出。  
プリント・織生地・友禅等デザイン違いで3点以上。  
きもの場合は、完成形を1点以上。  
コンセプトをまとめたデータ等、展示用物品の制作。

回	授業計画及び学習の内容	
1	卒業演習	ガイダンス
2	卒業演習	スケジュール表作成
3 - 5	卒業演習	デザイン提案
6 - 8	卒業演習	実験
9 - 15	卒業演習	本番制作、展示方法立案
16	卒業演習	展示備品他ポップ制作
17	卒業演習	展示
18	卒業演習	作品プレゼンテーション

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点  
提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

織の基本工程や糸計算を解説。学生が各自糸セットと織り作業を行い織生地への理解を深めるようにする。

道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は織作家として活躍しており、展示販売も頻繁に行っている。

講師経験も長いキャリアを持ち販売する際の方法や自分の作品制作を通して学生に伝えながら授業を行う

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	プロジェクト研究Ⅱ	馬場美和子	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

教員から提案された課題でなく自分でテーマを見つけ、作品制作を行うことで洗練された作品コンセプトを作る。作品制作だけでなくプレゼンテーション、仕器も含めた展示方法を考え発表することで作品制作の行く末や学校外からの評価を体験。卒業してからの活動手本として、この授業を活用する。

## 【講義概要】

スケジュール概要を説明。各自作品制作。後期半年間の制作に見合う作品を提出。  
プリント・織生地・友禅等デザイン違いで3点以上。  
きもの場合は、完成形を1点以上。  
コンセプトをまとめたデータ等、展示用物品の制作。

回	授業計画及び学習の内容	
1	卒業演習	ガイダンス
2	卒業演習	スケジュール表作成
3 - 5	卒業演習	デザイン提案
6 - 8	卒業演習	実験
9 - 15	卒業演習	本番制作、展示方法立案
16	卒業演習	展示備品他ポップ制作
17	卒業演習	展示
18	卒業演習	作品プレゼンテーション

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点  
提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

織の基本工程や糸計算を解説。学生が各自糸セットと織り作業を行い織生地への理解を深めるようにする。  
道具や材料の使い方を実践をとおして学ぶ。講師は織作家として活躍しており、展示販売も頻繁に行っている。

講師経歴も長いキャリアを持ち販売する際の手法や自分の作品制作を通して学生に伝えながら授業を行う

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	デザイン I	春日 泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

オリジナルで制作したデザイン画を生地プリント。データ作成から版制作、色調合、プリントと仕上げまでの工程を全て自分で行う。プリントした生地は傘業者へ渡し雨傘を制作する。ここで製品になった際の柄の見え方を体感することができる。

## 【講義概要】

データ作成、版制作、プリント方法を解説。作業時における注意点を気を付けながら実習。

底辺40cm×高さ50cmの三角形内に柄を配置、リピートした際の見え方を考えながらデザインする  
色数:5色使用 送り:同心円送り 生地:綿生地使用

回	授業計画及び学習の内容		
1	デザイン I	ガイダンス、市場調査	
2	デザイン I	デザイン画制作	1
3	デザイン I	デザイン画制作	2
4	デザイン I	デザイン画制作	3
5	デザイン I	データ制作	1
6	デザイン I	データ制作	2
7	デザイン I	版制作	1
8	デザイン I	版制作	2
9	デザイン I	版制作	3
10	デザイン I	色実験	1
11	デザイン I	色実験	2
12	デザイン I	色実験	3
13	デザイン I	捺染	
14	デザイン I	整理加工	
15	デザイン I	送付用データ制作	

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

最初から最後まで自分の手を使って作業します。自分の手を使い体験することで生きた知識として今後活用することができます。制作した傘は写真撮影を行いポートフォリオに活用します

担当教員は婦人服企画職とプリント工場で働いていた実務経験があり、デザイン面と実技面の両面から授業を行うことが出来る。

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	デザインⅡ	春日 泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

オリジナルで制作したデザイン画を生地プリント。データ作成から版制作、色調合、プリントと仕上げまでの工程を全て自分で行う。プリントした生地は傘業者へ渡し雨傘を制作する。ここで製品になった際の柄の見え方を体感することができる。

## 【講義概要】

データ作成、版制作、プリント方法を解説。作業時における注意点を気を付けながら実習。

底辺40cm×高さ50cmの三角形内に柄を配置、リピートした際の見え方を考えながらデザインする  
色数:5色使用 送り:同心円送り 生地:綿生地使用

回	授業計画及び学習の内容		
1	デザインⅡ	ガイダンス、市場調査	
2	デザインⅡ	デザイン画制作	1
3	デザインⅡ	デザイン画制作	2
4	デザインⅡ	デザイン画制作	3
5	デザインⅡ	データ制作	1
6	デザインⅡ	データ制作	2
7	デザインⅡ	版制作	1
8	デザインⅡ	版制作	2
9	デザインⅡ	版制作	3
10	デザインⅡ	色実験	1
11	デザインⅡ	色実験	2
12	デザインⅡ	色実験	3
13	デザインⅡ	捺染	
14	デザインⅡ	整理加工	
15	デザインⅡ	送付用データ制作	

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

最初から最後まで自分の手を使って作業します。自分の手を使い体験することで生きた知識として今後活用することができます。制作した傘は写真撮影を行いポートフォリオに活用します

担当教員は婦人服企画職とプリント工場に働いていた実務経験があり、デザイン面と実技面の両面から授業を行うことが出来る。

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	デザインⅢ	春日 泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

オリジナルで制作したデザイン画を生地プリント。データ作成から版制作、色調合、プリントと仕上げまでの工程を全て自分で行う。プリントした生地は傘業者へ渡し雨傘を制作する。ここで製品になった際の柄の見え方を体感することができる。

## 【講義概要】

データ作成、版制作、プリント方法を解説。作業時における注意点を気を付けながら実習。

底辺40cm×高さ50cmの三角形内に柄を配置、リピートした際の見え方を考えながらデザインする  
色数:5色使用 送り:同心円送り 生地:綿生地使用

回	授業計画及び学習の内容		
1	デザインⅢ	ガイダンス、市場調査	
2	デザインⅢ	デザイン画制作	1
3	デザインⅢ	デザイン画制作	2
4	デザインⅢ	デザイン画制作	3
5	デザインⅢ	データ制作	1
6	デザインⅢ	データ制作	2
7	デザインⅢ	版制作	1
8	デザインⅢ	版制作	2
9	デザインⅢ	版制作	3
10	デザインⅢ	色実験	1
11	デザインⅢ	色実験	2
12	デザインⅢ	色実験	3
13	デザインⅢ	捺染	
14	デザインⅢ	整理加工	
15	デザインⅢ	送付用データ制作	

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

最初から最後まで自分の手を使って作業します。自分の手を使い体験することで生きた知識として今後活用することができます。制作した傘は写真撮影を行いポートフォリオに活用します

担当教員は婦人服企画職とプリント工場に働いていた実務経験があり、デザイン面と実技面の両面から授業を行うことが出来る。

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	デザインⅣ	春日 泰浩	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

オリジナルで制作したデザイン画を生地プリント。データ作成から版制作、色調合、プリントと仕上げまでの工程を全て自分で行う。プリントした生地は傘業者へ渡し雨傘を制作する。ここで製品になった際の柄の見え方を体感することができる。

## 【講義概要】

データ作成、版制作、プリント方法を解説。作業時における注意点を気を付けながら実習。

底辺40cm×高さ50cmの三角形内に柄を配置、リピートした際の見え方を考えながらデザインする  
色数:5色使用 送り:同心円送り 生地:綿生地使用

回	授業計画及び学習の内容		
1	デザインⅣ	ガイダンス、市場調査	
2	デザインⅣ	デザイン画制作	1
3	デザインⅣ	デザイン画制作	2
4	デザインⅣ	デザイン画制作	3
5	デザインⅣ	データ制作	1
6	デザインⅣ	データ制作	2
7	デザインⅣ	版制作	1
8	デザインⅣ	版制作	2
9	デザインⅣ	版制作	3
10	デザインⅣ	色実験	1
11	デザインⅣ	色実験	2
12	デザインⅣ	色実験	3
13	デザインⅣ	捺染	
14	デザインⅣ	整理加工	
15	デザインⅢ	送付用データ制作	

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

最初から最後まで自分の手を使って作業します。自分の手を使い体験することで生きた知識として今後活用することができます。制作した傘は写真撮影を行いポートフォリオに活用します

担当教員は婦人服企画職とプリント工場に働いていた実務経験があり、デザイン面と実技面の両面から授業を行うことが出来る。

## 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	卒業研究	春日泰浩	6単位 90時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

教員から提案された課題でなく自分でテーマを見つけ、作品制作を行うことで洗練された作品コンセプトを作る。作品制作だけでなくプレゼンテーション、仕器も含めた展示方法を考え発表することで作品制作の行く末や学校外からの評価を体験。卒業してからの活動手本として、この授業を活用する。

## 【講義概要】

スケジュール概要を説明。各自作品制作。後期半年間の制作に見合う作品を提出。  
プリント・織生地・友禅等デザイン違いで3点以上。  
きもの場合は、完成形を1点以上。  
コンセプトをまとめたデータ等、展示用物品の制作。

回	授業計画及び学習の内容
1	ガイダンス
2	スケジュール表作成
3	デザイン提案
4	デザイン提案
5	デザイン提案
6	実験
7	実験
8	実験
9	本番制作
10	本番制作
11	本番制作
12	展示方法を考える
13	ポップ制作
14	展示
15	プレゼンテーション

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

スケジュール概要、展示点数等を初日授業で告知。作品コンセプトを考え、スケジュールを提出。実験、修正を繰り返し本番用テキスタイルを制作。シャツやバッグといった製品提案の場合は制作した生地を裁断縫製して製品化する。授業最終日プレゼンテーションを行い各講師から意見を聞き、作品手直しや展示方法の再検討を行う。制作した作品はギャラリー等で展示(予定)。来場者への作品説明を行うことで、プレゼンテーションを実体験として学ぶ。

担当教員は婦人服企画職とプリント工場に働いていた実務経験があり、実技面と展示面の両方を教えることが出来る

## 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	構成演習Ⅲ	春日泰浩	6単位 90時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

教員から提案された課題でなく自分でテーマを見つけ、作品制作を行うことで洗練された作品コンセプトを作る。作品制作だけでなくプレゼンテーション、仕器も含めた展示方法を考え発表することで作品制作の行く末や学校外からの評価を体験。卒業してからの活動手本として、この授業を活用する。

## 【講義概要】

スケジュール概要を説明。各自作品制作。後期半年間の制作に見合う作品を提出。  
プリント・織生地・友禅等デザイン違いで3点以上。  
きもの場合は、完成形を1点以上。  
コンセプトをまとめたデータ等、展示用物品の制作。

回	授業計画及び学習の内容
1	ガイダンス
2	スケジュール表作成
3	デザイン提案
4	デザイン提案
5	デザイン提案
6	実験
7	実験
8	実験
9	本番制作
10	本番制作
11	本番制作
12	展示方法を考える
13	ポップ制作
14	展示
15	プレゼンテーション

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

スケジュール概要、展示点数等を初日授業で告知。作品コンセプトを考え、スケジュールを提出。実験、修正を繰り返し本番用テキスタイルを制作。シャツやバッグといった製品提案の場合は制作した生地を裁断縫製して製品化する。授業最終日プレゼンテーションを行い各講師から意見を聞き、作品手直しや展示方法の再検討を行う。制作した作品はギャラリー等で展示(予定)。来場者への作品説明を行うことで、プレゼンテーションを実体験として学ぶ。

担当教員は婦人服企画職とプリント工場で働いていた実務経験があり、実技面と展示面の両方を教えることが出来る

## 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	構成演習Ⅳ	春日泰浩	6単位 90時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

教員から提案された課題でなく自分でテーマを見つけ、作品制作を行うことで洗練された作品コンセプトを作る。作品制作だけでなくプレゼンテーション、仕器も含めた展示方法を考え発表することで作品制作の行く末や学校外からの評価を体験。卒業してからの活動手本として、この授業を活用する。

## 【講義概要】

スケジュール概要を説明。各自作品制作。後期半年間の制作に見合う作品を提出。  
プリント・織生地・友禅等デザイン違いで3点以上。  
きもの場合は、完成形を1点以上。  
コンセプトをまとめたデータ等、展示用物品の制作。

回	授業計画及び学習の内容
1	ガイダンス
2	スケジュール表作成
3	デザイン提案
4	デザイン提案
5	デザイン提案
6	実験
7	実験
8	実験
9	本番制作
10	本番制作
11	本番制作
12	展示方法を考える
13	ポップ制作
14	展示
15	プレゼンテーション

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

スケジュール概要、展示点数等を初日授業で告知。作品コンセプトを考え、スケジュールを提出。実験、修正を繰り返し本番用テキスタイルを制作。シャツやバッグといった製品提案の場合は制作した生地を裁断縫製して製品化する。授業最終日プレゼンテーションを行い各講師から意見を聞き、作品手直しや展示方法の再検討を行う。制作した作品はギャラリー等で展示(予定)。来場者への作品説明を行うことで、プレゼンテーションを実体験として学ぶ。

担当教員は婦人服企画職とプリント工場に働いていた実務経験があり、実技面と展示面の両方を教えることが出来る

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	造形専門演習Ⅲ	安藤タツ子	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

教員から提案された課題でなく自分でテーマを見つけ、作品制作を行うことで洗練された作品コンセプトを作る。作品制作だけでなくプレゼンテーション、仕器も含めた展示方法を考え発表することで作品制作の行く末や学校外からの評価を体験。卒業してからの活動手本として、この授業を活用する。

## 【講義概要】

スケジュール概要を説明。各自作品制作。後期半年間の制作に見合う作品を提出。  
プリント・織生地・友禅等デザイン違いで3点以上。  
きもの場合は、完成形を1点以上。  
コンセプトをまとめたデータ等、展示用物品の制作。

回	授業計画及び学習の内容
1	ガイダンス
2	スケジュール表作成
3	デザイン提案
4	デザイン提案
5	デザイン提案
6	実験
7	実験
8	実験
9	本番制作
10	本番制作
11	本番制作
12	展示方法を考える
13	ポップ制作
14	展示
15	プレゼンテーション

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点、提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

スケジュール概要、展示点数等を初日授業で告知。作品コンセプトを考え、スケジュールを提出。実験、修正を繰り返し本番用テキスタイルを制作。シャツやバッグといった製品提案の場合は制作した生地を裁断縫製して製品化する。授業最終日プレゼンテーションを行い各講師から意見を聞き、作品手直しや展示方法の再検討を行う。制作した作品はギャラリー等で展示(予定)。来場者への作品説明を行うことで、プレゼンテーションを実体験として学ぶ。

講師経験も長いキャリアを持ち作家としての考えや作品を作る上で大切なことを教えながら授業を行うことができる。

## 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	デザイン総合学科 昼間部(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	造形専門演習Ⅳ	安藤タツ子	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

教員から提案された課題でなく自分でテーマを見つけ、作品制作を行うことで洗練された作品コンセプトを作る。作品制作だけでなくプレゼンテーション、仕器も含めた展示方法を考え発表することで作品制作の行く末や学校外からの評価を体験。卒業してからの活動手本として、この授業を活用する。

## 【講義概要】

スケジュール概要を説明。各自作品制作。後期半年間の制作に見合う作品を提出。  
プリント・織生地・友禅等デザイン違いで3点以上。  
きもの場合は、完成形を1点以上。  
コンセプトをまとめたデータ等、展示用物品の制作。

回	授業計画及び学習の内容
1	ガイダンス
2	スケジュール表作成
3	デザイン提案
4	デザイン提案
5	デザイン提案
6	実験
7	実験
8	実験
9	本番制作
10	本番制作
11	本番制作
12	展示方法を考える
13	ポップ制作
14	展示
15	プレゼンテーション

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)10点、提出作品(作品点数)70点、提出作品(まとめ方)10点  
提出作品(提案)10点から成績評価を行う。

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

スケジュール概要、展示点数等を初日授業で告知。作品コンセプトを考え、スケジュールを提出。実験、修正を繰り返し本番用テキスタイルを制作。シャツやバッグといった製品提案の場合は制作した生地を裁断縫製して製品化する。授業最終日プレゼンテーションを行い各講師から意見を聞き、作品手直しや展示方法の再検討を行う。制作した作品はギャラリー等で展示(予定)。来場者への作品説明を行うことで、プレゼンテーションを実体験として学ぶ。

講師経験も長いキャリアを持ち作家としての考えや作品を作る上で大切なことを教えながら授業を行うことができる。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際教養学科(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	国際時事問題研究 I	関谷 俊郁	2単位
【授業の到達目標及びテーマ】			
国際時事問題に関するニュースを独力で読み解く力を習得する。			
【講義概要】			
現代の国際社会における諸事象を理解するためには、歴史的視点から見る事が不可欠となる。現在から過去へとさかのぼることで、結果と原因を結びつける能力を高めることも企図する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	イラン政治		
2	天然資源・エネルギー		
3	アメリカの政治・文化		
4	ヨーロッパとアメリカの宗教事情		
5	アメリカの中東政策①		
6	アメリカの中東政策②		
7	ソ連成立から現代ロシア成立までの過程		
8	各国の選挙情勢と選挙制度		
9	アメリカ外交の特徴		
10	科学の発展と資本主義の相関		
11	地球環境問題		
12	食糧問題		
13	国民国家とナショナリズム		
14	権力とは何か		
15	期末試験		
【成績評価方法】			
講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
国際時事問題を過去の歴史と結びつけ講義を行うため、基本的な世界史の知識につき予習・復習をしっかりと行うこと。また、学習する際には、単に暗記するのではなく、「なぜ」を常に意識すること。			
防衛省での勤務経験のある国際経験豊富な講師が国際時事問題の講義を展開			

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際教養学科(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	国際時事問題研究 II	関谷 俊郁	2単位
【授業の到達目標及びテーマ】			
国際時事問題に関するニュースを独力で読み解く力を習得する。			
【講義概要】			
現代の国際社会における諸事象を理解するためには、歴史的視点から見る事が不可欠となる。現在から過去へとさかのぼることで、結果と原因を結びつける能力を高めることも企図する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	日中関係史1		
2	日中関係史2		
3	日米関係1		
4	日米関係2		
5	米中関係1		
6	米中関係2		
7	2025年の国際情勢		
8	2026年の国際情勢		
9	アメリカ中間選挙と国際社会		
10	技術の発展と社会		
11	国際秩序の変化		
12	地域秩序の変化		
13	権威主義国家と民主国家		
14	将来の展望		
15	期末試験		
【成績評価方法】			
講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
国際時事問題を過去の歴史と結びつけ講義を行うため、基本的な世界史の知識につき予習・復習をしっかりと行うこと。また、学習する際には、単に暗記するのではなく、「なぜ」を常に意識すること。			
防衛省での勤務経験のある国際経験豊富な講師が国際時事問題の講義を展開			

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際教養学科(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	プロジェクト研究 I	林 一周	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

プロジェクトを展開するにあたり必要な能力の醸成を企図する。

## 【講義概要】

自身の興味関心を明確にし、課題をとらえ、それを克服し目標達成に至るに不可欠な考え方につき指導する。

## 回 | 授業計画及び学習の内容

- 1 ガイダンス
- 2 プロジェクトの進め方
- 3 自己分析
- 4 価値観の整理
- 5 プロジェクト内容の決定
- 6 情報分析とプロジェクト目的の設定
- 7 企業分析
- 8 社会全体におけるトレンドの分析
- 9 社会と企業の関係からみたプロジェクトの妥当性
- 10 プロジェクト発表のためのスキル
- 11 プロジェクト計画まとめ
- 12 プロジェクト発表①
- 13 プロジェクト発表②
- 14 プロジェクト発表③
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義はパワーポイントを使い、質疑を交えながら講義形式で進める。受講者はメモをとりながら、適宜質問にも答えてもらう。

コンサルティング業務経験を踏まえた講義を展開。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際教養学科(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	プロジェクト研究Ⅱ	林 一周	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

プロジェクトを展開するにあたり必要な能力の醸成を企図する。

## 【講義概要】

自身の興味関心を明確にし、課題をとらえ、それを克服し目標達成に至るに不可欠な考え方につき指導する。

## 回 | 授業計画及び学習の内容

- 1 ガイダンス
- 2 プレゼンテーションの基礎①
- 3 プレゼンテーションの基礎②
- 4 プレゼンテーション(個人発表)演習①
- 5 プレゼンテーション(個人発表)演習②
- 6 プレゼンテーション(個人発表)演習③
- 7 ディスカッション①
- 8 ディスカッション②
- 9 プレゼンテーション(グループ発表)演習①
- 10 プレゼンテーション(グループ発表)演習②
- 11 プレゼンテーション(グループ発表)演習③
- 12 プレゼンテーション(グループ発表)演習④
- 13 ディベート①
- 14 ディベート②
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義はパワーポイントを使い、質疑を交えながら講義形式で進める。受講者はメモをとりながら、適宜質問にも答えてもらう。

コンサルティング業務経験を踏まえた講義を展開。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際教養学科(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門必修	ビジネスマナーI	吉川 知子	2単位
【授業の到達目標及びテーマ】			
社会人としての基礎から国際的なビジネスシーンにおける基礎的なスキルまで身につける			
【講義概要】			
日本社会での一般的な社会常識を理解し、「良好な人間関係を築くために必要なマナー」の基本を学ぶ。母国とは違う日本のコミュニケーションの特徴を理解し、心を伝えるための表現力を身につける。「知っている・わかっている」から「普通にできる」ようになる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ビジネスに必要なコミュニケーション力		
2	日本のコミュニケーションと海外のコミュニケーションの違い①		
3	日本のコミュニケーションと海外のコミュニケーションの違い②		
4	日本のコミュニケーションと海外のコミュニケーションの違い③		
5	挨拶のポイントと場面にあった挨拶言葉①		
6	挨拶のポイントと場面にあった挨拶言葉②		
7	第一印象の重要性、相手に与える自分の印象①		
8	第一印象の重要性、相手に与える自分の印象②		
9	視覚に入る情報～身だしなみ／面接試験でのスーツの着方／基本的動作(姿勢・お辞儀・歩き方)／表情①		
10	視覚に入る情報～身だしなみ／面接試験でのスーツの着方／基本的動作(姿勢・お辞儀・歩き方)／表情②		
11	聴覚に入る情報～敬語の基本／感じの良い話し方／発音・活舌トレーニング①		
12	聴覚に入る情報～敬語の基本／感じの良い話し方／発音・活舌トレーニング②		
13	指示の受け方・報告の仕方①		
14	指示の受け方・報告の仕方②		
15	期末試験		
【成績評価方法】			
講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)30点、期末試験70点			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義と実践、演習を繰り返すことで社会人として恥ずかしくない態度が身につくように指導する。			
様々な企業でのビジネスマナー等研修のプロ			

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際教養学科(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	ビジネスマナーⅡ	吉川 知子	2単位
【授業の到達目標及びテーマ】			
社会人としての基礎から国際的なビジネスシーンにおける基礎的なスキルまで身に着ける			
【講義概要】			
日本社会での一般的な社会常識を理解し、「良好な人間関係を築くために必要なマナー」の基本を学ぶ。母国とは違う日本のコミュニケーションの特徴を理解し、心を伝えるための表現力を身につける。「知っている・わかっている」から「普通にできる」ようになる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	人間関係の構築とコミュニケーション力		
2	電話応対／受け方・かけ方①		
3	電話応対／受け方・かけ方②		
4	名刺交換／席次／エレベーター乗降り／ドアの開閉①		
5	名刺交換／席次／エレベーター乗降り／ドアの開閉②		
6	履歴書のポイントと注意点、書き方①		
7	履歴書のポイントと注意点、書き方②		
8	ビジネスメールの種類とポイント、書き方①		
9	ビジネスメールの種類とポイント、書き方②		
10	指示の受け方～メモをとる、復唱確認の話し方①		
11	指示の受け方～メモをとる、復唱確認の話し方②		
12	報告の仕方～話し方		
13	日本のコミュニケーションと海外のコミュニケーションの違い(演習①)		
14	日本のコミュニケーションと海外のコミュニケーションの違い(演習②)		
15	期末試験		
【成績評価方法】			
講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)30点、期末試験70点			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義と実践、演習を繰り返すことで社会人として恥ずかしくない態度が身に着くように指導する。			
様々な企業でのビジネスマナー等研修のプロ			

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程	国際情報学科(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	国際ビジネスI	吉川 知子	2単位
【授業の到達目標及びテーマ】			
社会人としての基礎から国際的なビジネスシーンにおける基礎的なスキルまで身に着ける			
【講義概要】			
日本社会での一般的な社会常識を理解し、「良好な人間関係を築くために必要なマナー」の基本を学ぶ。母国とは違う日本のコミュニケーションの特徴を理解し、心を伝えるための表現力を身につける。「知っている・わかっている」から「普通にできる」ようになる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ビジネスに必要なコミュニケーション力		
2	日本のコミュニケーションと海外のコミュニケーションの違い①		
3	日本のコミュニケーションと海外のコミュニケーションの違い②		
4	日本のコミュニケーションと海外のコミュニケーションの違い③		
5	挨拶のポイントと場面にあった挨拶言葉①		
6	挨拶のポイントと場面にあった挨拶言葉②		
7	第一印象の重要性、相手に与える自分の印象①		
8	第一印象の重要性、相手に与える自分の印象②		
9	視覚に入る情報～身だしなみ／面接試験でのスーツの着方／基本的動作(姿勢・お辞儀・歩き方)／表情①		
10	視覚に入る情報～身だしなみ／面接試験でのスーツの着方／基本的動作(姿勢・お辞儀・歩き方)／表情②		
11	聴覚に入る情報～敬語の基本／感じの良い話し方／発音・活舌トレーニング①		
12	聴覚に入る情報～敬語の基本／感じの良い話し方／発音・活舌トレーニング②		
13	指示の受け方・報告の仕方①		
14	指示の受け方・報告の仕方②		
15	期末試験		
【成績評価方法】			
講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)30点、期末試験70点			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義と実践、演習を繰り返すことで社会人として恥ずかしくない態度が身に着くように指導する。			
様々な企業でのビジネスマナー等研修のプロ			

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程	国際情報学科(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	国際ビジネスⅡ	吉川 知子	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

社会人としての基礎から国際的なビジネスシーンにおける基礎的なスキルまで身に着ける

## 【講義概要】

日本社会での一般的な社会常識を理解し、「良好な人間関係を築くために必要なマナー」の基本を学ぶ。母国とは違う日本のコミュニケーションの特徴を理解し、心を伝えるための表現力を身につける。「知っている・わかっている」から「普通にできる」ようになる。

## 【回】 授業計画及び学習の内容

- 1 人間関係の構築とコミュニケーション力
- 2 電話応対／受け方・かけ方①
- 3 電話応対／受け方・かけ方②
- 4 名刺交換／席次／エレベーター乗降り／ドアの開閉①
- 5 名刺交換／席次／エレベーター乗降り／ドアの開閉②
- 6 履歴書のポイントと注意点、書き方①
- 7 履歴書のポイントと注意点、書き方②
- 8 ビジネスメールの種類とポイント、書き方①
- 9 ビジネスメールの種類とポイント、書き方②
- 10 指示の受け方～メモをとる、復唱確認の話し方①
- 11 指示の受け方～メモをとる、復唱確認の話し方②
- 12 報告の仕方～話し方
- 13 日本のコミュニケーションと海外のコミュニケーションの違い(演習①)
- 14 日本のコミュニケーションと海外のコミュニケーションの違い(演習②)
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)30点、期末試験70点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義と実践、演習を繰り返すことで社会人として恥ずかしくない態度が身に着くように指導する。

様々な企業でのビジネスマナー等研修のプロ

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程	国際情報学科(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	国際ビジネスⅢ	吉川 知子	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

国際的なビジネスシーンにおいて活躍するために必要なコミュニケーションスキルを身に着ける

## 【講義概要】

日本の一般的な面接試験で重要視され求められる事柄を理解する。  
目の前の面接官と一瞬で良好な関係を築くための話し方、答え方、気持ちを伝えるための立ち居振る舞いなど、より効果的なコミュニケーション技法を体得する。  
準備していない質問や突飛な問いかけにも、それなりに対応できるようにする。

## 【回】 授業計画及び学習の内容

- 1 面接で必要とされるコミュニケーション力
- 2 基本的動作、表情①
- 3 基本的動作、表情②
- 4 基本的動作、表情③
- 5 面接試験での話し方、答え方のポイント①
- 6 面接試験での話し方、答え方のポイント②
- 7 面接試験での聞き方、聞く態度①
- 8 面接試験での聞き方、聞く態度②
- 9 個人面接での立ち居振る舞い①
- 10 個人面接での立ち居振る舞い②
- 11 集団面接での立ち居振る舞い①
- 12 集団面接での立ち居振る舞い②
- 13 模擬面接①
- 14 模擬面接②
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)30点、期末試験70点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義と実践、演習を繰り返すことで面接試験に対応できるコミュニケーション力を育成する。

様々な企業でのビジネスマナー等研修のプロ

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程	国際情報学科(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	国際ビジネスIV	吉川 知子	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

国際的なビジネスシーンにおいて活躍するために必要なコミュニケーションスキルを身に着ける

## 【講義概要】

日本の一般的な面接試験で重要視され求められる事柄を理解する。  
目の前の面接官と一瞬で良好な関係を築くための話し方、答え方、気持ちを伝えるための立ち居振る舞いなど、より効果的なコミュニケーション技法を体得する。  
準備していない質問や突飛な問いかけにも、それなりに対応できるようにする。

## 【回】 授業計画及び学習の内容

- 1 コミュニケーションの重要性
- 2 感じの良い話し方と敬語①
- 3 感じの良い話し方と敬語②
- 4 感じの良い話し方と敬語③
- 5 面接試験における話し方・答え方①
- 6 面接試験における話し方・答え方②
- 7 面接におけるコミュニケーション①
- 8 面接におけるコミュニケーション②
- 9 模擬面接①
- 10 模擬面接②
- 11 模擬面接③
- 12 模擬面接④
- 13 模擬面接⑤
- 14 模擬面接⑥
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)30点、期末試験70点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義と実践、演習を繰り返すことで面接試験に対応できるコミュニケーション力を育成する。

様々な企業でのビジネスマナー等研修のプロ

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程	国際情報学科(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	数学I	中山 広樹	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

数学ⅡBを理解し、マスターすることを目標とする。

## 【講義概要】

数学ⅡBを中心に進める。

回	授業計画及び学習の内容
---	-------------

- |    |                     |
|----|---------------------|
| 1  | 講義オリエンテーション:数学の学習意義 |
| 2  | 式と証明 1              |
| 3  | 式と証明 2              |
| 4  | 式と証明 3              |
| 5  | 小テスト・解答解説           |
| 6  | 三角関数 1              |
| 7  | 三角関数 2              |
| 8  | 三角関数 3              |
| 9  | 小テスト・解答解説           |
| 10 | 指数関数・対数関数 1         |
| 11 | 指数関数・対数関数 2         |
| 12 | 指数関数・対数関数 3         |
| 13 | 小テスト・解答解説           |
| 14 | 前期講義の総復習            |
| 15 | 期末試験                |

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式で実施する。

建設会社での構造計算、安全性の数値計算等の業務を通して培った数学力を活かし、実務的観点から理論を体系的に説明する、わかりやすい講義のできる教員です。

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程	国際情報学科(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	数学Ⅱ	中山 広樹	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

数学ⅡBを理解し、マスターすることを目標とする。

## 【講義概要】

数学ⅡBを中心に進める。

回	授業計画及び学習の内容
1	講義オリエンテーション:数学の応用
2	微分法・積分法 1
3	微分法・積分法 2
4	微分法・積分法 3
5	小テスト・解答解説
6	ベクトル 1
7	ベクトル 2
8	ベクトル 3
9	小テスト・解答解説
10	数列 1
11	数列 2
12	数列 3
13	小テスト・解答解説
14	後期講義の総復習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式で実施する。

建設会社での構造計算、安全性の数値計算等の業務を通して培った数学力を活かし、実務的観点から理論を体系的に説明する、わかりやすい講義のできる教員です。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程	国際情報学科(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	数学Ⅲ	中山 広樹	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

より高度な数学を理解し、マスターすることを目標とする。

## 【講義概要】

数学について、問題演習と解答解説を繰り返し行うことで、能力の向上を図る

## 回 授業計画及び学習の内容

- 1 講義オリエンテーション 今年度の学習計画と学習姿勢について
- 2 微分法・積分法 応用①
- 3 微分法・積分法 応用②
- 4 微分法・積分法 応用③
- 5 小テスト・解答解説
- 6 複素数平面 1
- 7 複素数平面 2
- 8 複素数平面 3
- 9 小テスト・解答解説
- 10 数学問題演習 テスト演習・解答解説①
- 11 数学問題演習 テスト演習・解答解説②
- 12 数学問題演習 テスト演習・解答解説③
- 13 数学問題演習 テスト演習・解答解説④
- 14 数学問題演習 テスト演習・解答解説⑤
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式で実施する。

建設会社での構造計算、安全性の数値計算等の業務を通して培った数学力を活かし、実務的観点から理論を体系的に説明する、わかりやすい講義のできる教員です。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程	国際情報学科(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	数学Ⅳ	中山 広樹	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

より高度な数学を理解し、マスターすることを目標とする。

## 【講義概要】

数学について、問題演習と解答解説を繰り返し行うことで、能力の向上を図る

## 回 | 授業計画及び学習の内容

- 1 講義オリエンテーション 今年度の学習計画と学習姿勢について
- 2 関数の極限①
- 3 関数の極限②
- 4 関数の極限③
- 5 小テスト・解答解説
- 6 数学問題演習 テスト演習・解答解説①
- 7 数学問題演習 テスト演習・解答解説②
- 8 数学問題演習 テスト演習・解答解説③
- 9 数学 弱点補強①
- 10 数学 弱点補強②
- 11 数学問題演習 テスト演習・解答解説④
- 12 数学問題演習 テスト演習・解答解説⑤
- 13 数学問題演習 テスト演習・解答解説⑥
- 14 後期講義の総復習
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式で実施する。

建設会社での構造計算、安全性の数値計算等の業務を通して培った数学力を活かし、実務的観点から理論を体系的に説明する、わかりやすい講義のできる教員です。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	外国語 I	下田智	2単位 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ハンガルの読み書きを習得し、基礎的な文法と語彙を身につけることを目指します。日常生活に即した場面を通じて、基礎的な会話ができる語学力を養うとともに、短い文章や簡単な作文を通じて基礎的な文章作成力も育成します。また韓国の文化や習慣についても基礎的な理解を深め、言語と文化の両面から韓国の理解を深めることを目的とします。

## 【講義概要】

日常生活に即した場面の会話を通じて、基礎的な文法と語彙を習得します。学んだ表現を用いた会話練習により、実践的な会話力を養成します。また、自らその場面における会話を作成し応用することで、表現力を高めます。さらに、韓国の文化や習慣に関する題材を用いた文章作成を行い、文章表現力も身につけます。

## 回 授業計画及び学習の内容

- 1 ハンガルの読み書き(母音と子音)
- 2 ハンガルの読み書き(合成母音)
- 3 ハンガルの読み書き(パッチム)
- 4 数字(1)
- 5 数字(2)
- 6 挨拶 / 文法・語彙:입니다, 임니까 / 은(는) / 会話:挨拶①
- 7 挨拶 / 文法・語彙:입니다, 임니까 / 은(는) / 会話:挨拶②
- 8 自己紹介 / 文法・語彙:이(가) 아닙니다 / 会話:自己紹介 / 文章作成:自己紹介文①
- 9 自己紹介 / 文法・語彙:이(가) 아닙니다 / 会話:自己紹介 / 文章作成:自己紹介文②
- 10 学校生活 / 文法・語彙:습니다, 습니까 / 이(가) / 을(를) / 会話:学校生活について①
- 11 学校生活 / 文法・語彙:습니다, 습니까 / 이(가) / 을(를) / 会話:学校生活について②
- 12 学校生活 / 文法・語彙:습니다, 습니까 / 이(가) / 을(를) / 会話:学校生活について③
- 13 日にち / 文法・語彙:날짜 / 에 / 会話:授業の日程 / 文章作成:サークル案内文①
- 14 日にち / 文法・語彙:날짜 / 에 / 会話:授業の日程 / 文章作成:サークル案内文②
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

学生の評価は以下の要素を総合的に判断して行う。・授業への参加状況および学習態度(20%)・各回の課題の提出状況および達成度(20%)・小テストおよび定期試験の成績(60%)

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

本授業では、文法・語彙のインプットを行った後、それをもとに会話文を作成し、ロールプレイなどの演習を通じて実践的な会話表現力を養成します。授業は基本的に韓国語で行いますが、学生の理解度に応じて柔軟に対応します。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	外国語Ⅱ	下田智	2単位 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

韓国語の文法と語彙を身につけることを目指します。日常生活に即した場面を通じて、基礎的な会話ができる語学力を養うとともに、短い文章や簡単な作文を通じて基礎的な文章作成力も育成します。また韓国の文化や習慣についても基礎的な理解を深め、言語と文化の両面から韓国の理解を深めることを目的とします。

## 【講義概要】

日常生活に即した場面の会話を通じて、基礎的な文法と語彙を習得します。学んだ表現を用いた会話練習により、実践的な会話力を養成します。また、自らその場面における会話を作成し応用することで、表現力を高めます。さらに、韓国の文化や習慣に関する題材を用いた文章作成を行い、文章表現力も身につけます。

## 回 授業計画及び学習の内容

- 1 家 / 文法・語彙: 이, 그, 저 / 예 / 하고, 과(와) / 会話: 寮の施設について①
- 2 家 / 文法・語彙: 이, 그, 저 / 예 / 하고, 과(와) / 会話: 寮の施設について②
- 3 道案内 / 文法・語彙: (으)세요 / (으)로 / 会話: 道案内 / 文章作成: 私の夢の家①
- 4 道案内 / 文法・語彙: (으)세요 / (으)로 / 会話: 道案内 / 文章作成: 私の夢の家②
- 5 質問 / 文法・語彙: 数字(3) / 시간 / (에) / 会話: 質問①
- 6 質問 / 文法・語彙: 数字(4) / 시간 / (에) / 会話: 質問②
- 7 1日の生活 / 文法・語彙: 부터~까지 / 아/어요 / 会話: 1日の日課 / 文章作成: 日課①
- 8 1日の生活 / 文法・語彙: 부터~까지 / 아/어요 / 会話: 1日の日課 / 文章作成: 日課②
- 9 週末 / 文法・語彙: 에서 / 안 / 으 탈락 / 会話: 週末の活動①
- 10 週末 / 文法・語彙: 에서 / 안 / 으 탈락 / 会話: 週末の活動②
- 11 旅行 / 文法・語彙: -았/었- / 도 / 会話: 旅行について 文章作成: 旅行日記①
- 12 旅行 / 文法・語彙: -았/었- / 도 / 会話: 旅行について 文章作成: 旅行日記②
- 13 家族 / 文法・語彙: 나이 / 은(는) / -(으)시- / ㄹ 탈락 / 만 / 会話: 家族紹介①
- 14 家族 / 文法・語彙: 나이 / 은(는) / -(으)시- / ㄹ 탈락 / 만 / 会話: 家族紹介②
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

学生の評価は以下の要素を総合的に判断して行う。・授業への参加状況および学習態度(20%)・各回の課題の提出状況および達成度(20%)・小テストおよび定期試験の成績(60%)

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

本授業では、文法・語彙のインプットを行った後、それをもとに会話文を作成し、ロールプレイなどの演習を通じて実践的な会話表現力を養成します。授業は基本的に韓国語で行いますが、学生の理解度に応じて柔軟に対応します。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	外国語Ⅲ	下田智	2単位 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

韓国語の中級文法と語彙を身につけることを目指します。日常生活に即した場面を通じて、日常会話ができる語学力を養うとともに、少し長めの文章作成力も育成します。また韓国の文化や習慣についても理解を深め、言語と文化の両面から韓国の理解を深めることを目的とします。

## 【講義概要】

日常生活に即した場面の会話を通じて、中級文法と語彙を習得します。学んだ表現を用いた会話練習により、実践的な会話力を養成します。また、自らその場面における会話を作成し応用することで、表現力を高めます。さらに、韓国の文化や習慣に関する題材を用いた文章作成を行い、文章表現力も身につけます。

回	授業計画及び学習の内容
1	学校・寮での会話①
2	学校・寮での会話②
3	学校・寮での会話③
4	文章作成:レポートを作成する①
5	文章作成:レポートを作成する②
6	文章作成:レポートを作成する③
7	アカデミックな韓国語①
8	アカデミックな韓国語②
9	アカデミックな韓国語③
10	アカデミックな韓国語④
11	韓国語でディスカッションをする①
12	韓国語でディスカッションをする②
13	韓国語でディスカッションをする③
14	前期の総復習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

学生の評価は以下の要素を総合的に判断して行う。・授業への参加状況および学習態度(20%)・各回の課題の提出状況および達成度(20%)・小テストおよび定期試験の成績(60%)

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

本授業では、文法・語彙のインプットを行った後、それをもとに会話文を作成し、ロールプレイなどの演習を通じて実践的な会話表現力を養成します。授業は基本的に韓国語で行いますが、学生の理解度に応じて柔軟に対応します。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	外国語Ⅳ	下田智	2単位 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

韓国語の中級文法と語彙を身につけることを目指します。日常生活に即した場面を通じて、日常会話ができる語学力を養うとともに、少し長めの文章作成力も育成します。また韓国の文化や習慣についても理解を深め、言語と文化の両面から韓国の理解を深めることを目的とします。

## 【講義概要】

日常生活に即した場面の会話を通じて、中級文法と語彙を習得します。学んだ表現を用いた会話練習により、実践的な会話力を養成します。また、自らその場面における会話を作成し応用することで、表現力を高めます。さらに、韓国の文化や習慣に関する題材を用いた文章作成を行い、文章表現力も身につけます。

回	授業計画及び学習の内容
1	交通手段に使う韓国語①
2	交通手段に使う韓国語②
3	留学のための韓国語①
4	留学のための韓国語②
5	留学のための韓国語③
6	留学のための韓国語④
7	アカデミックな韓国語 応用①
8	アカデミックな韓国語 応用②
9	アカデミックな韓国語 応用③
10	アカデミックな韓国語 応用④
11	韓国語でプレゼンテーションをする①
12	韓国語でプレゼンテーションをする②
13	韓国語でプレゼンテーションをする③
14	後期の総復習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

学生の評価は以下の要素を総合的に判断して行う。・授業への参加状況および学習態度(20%)・各回の課題の提出状況および達成度(20%)・小テストおよび定期試験の成績(60%)

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

本授業では、文法・語彙のインプットを行った後、それをもとに会話文を作成し、ロールプレイなどの演習を通じて実践的な会話表現力を養成します。授業は基本的に韓国語で行いますが、学生の理解度に応じて柔軟に対応します。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際教養学科(2年制)/国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位
専門基礎	政治経済 I	関谷俊郁	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

政治経済学に関する教養知識を幅広く学び修得することで、現代社会に対する理解を深める。

## 【講義概要】

経済問題の重要性は外交や軍事に比べて低く見積もられた時期があったが、冷戦期の米ソ二極構造が多極化していく中で重要な問題領域として高次元政治(ハイポリティクス)と並ぶようになった。本講義では政治経済面が国内にとどまらず国際社会に与えた影響をも教授する。

## 【回】 授業計画及び学習の内容

- 1 国際通貨体制
- 2 国際貿易体制
- 3 国際分業体制
- 4 為替相場
- 5 財政政策
- 6 予算
- 7 歳入と歳出
- 8 租税制度
- 9 リアリズム
- 10 リベラリズム①
- 11 リベラリズム②、マルクス主義、コンストラクティヴィズム
- 12 経済発展と民主化①
- 13 経済発展と民主化②
- 14 第二次世界大戦後の日本経済
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講師作成のレジュメ、板書などを使い、質疑を交えながら講義形式で進める。必要に応じてテストやレポート課題を出すため、講義に臨む際には予習復習合わせて3時間をほど学習すること。

防衛省での勤務経験を活かし多角的な視点で論理的に考える政治経済の講義を展開

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際教養学科(2年制)/国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位
専門基礎	政治経済Ⅱ	関谷俊郁	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

政治経済学に関する教養知識を幅広く学び修得することで、現代社会に対する理解を深める。

## 【講義概要】

経済問題の重要性は外交や軍事に比べて低く見積もられた時期があったが、冷戦期の米ソ二極構造が多極化していく中で重要な問題領域として高次元政治(ハイポリティクス)と並ぶようになった。本講義では政治経済面が国内にとどまらず国際社会に与えた影響をも教授する。

## 【回】 授業計画及び学習の内容

- 1 政治制度の比較
- 2 民主政治の成立
- 3 政治とは何か
- 4 権力論
- 5 福祉国家
- 6 金融政策
- 7 国民所得
- 8 景気変動
- 9 経済格差と経済成長
- 10 政治体制と経済成長
- 11 国際経済と国際経営
- 12 多国籍企業
- 13 日本経済の課題
- 14 国際社会の政治経済の現状
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講師作成のレジュメ、板書などを使い、質疑を交えながら講義形式で進める。必要に応じてテストやレポート課題を出すため、講義に臨む際には予習復習合わせて3時間をほど学習すること。

防衛省での勤務経験を活かし多角的な視点で論理的に考える政治経済の講義を展開

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	パソコン I	野間直司	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ITや経営についての学習を通して、ITパスポートや基本情報技術者試験合格に必要な知識の習得を目指す。

## 【講義概要】

ストラテジ系(経営全般)・マネジメント系(IT管理)・テクノロジ系(IT技術)などの学習を通して、IT・経営全般に関する理解を深めていく。

回	授業計画及び学習の内容
---	-------------

- |    |                   |
|----|-------------------|
| 1  | 自己紹介              |
| 2  | ストラテジ系(経営全般)の理解1  |
| 3  | ストラテジ系(経営全般)の理解2  |
| 4  | ストラテジ系(経営全般)の理解3  |
| 5  | ストラテジ系(経営全般)の理解4  |
| 6  | ストラテジ系(経営全般)の理解5  |
| 7  | マネジメント系(IT管理)の理解1 |
| 8  | マネジメント系(IT管理)の理解2 |
| 9  | マネジメント系(IT管理)の理解3 |
| 10 | マネジメント系(IT管理)の理解4 |
| 11 | テクノロジ系(IT技術)の理解1  |
| 12 | テクノロジ系(IT技術)の理解2  |
| 13 | テクノロジ系(IT技術)の理解3  |
| 14 | テクノロジ系(IT技術)の理解4  |
| 15 | 期末試験              |

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式がメインだが、各種試験の過去問題の演習も織り交ぜながら講義を展開していく。

IT教育における業界で活躍しているプロフェッショナル。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	パソコンⅡ	野間直司	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ITや経営についての学習を通して、ITパスポートや基本情報技術者試験合格に必要な知識の習得を目指す。

## 【講義概要】

ストラテジ系(経営全般)・マネジメント系(IT管理)・テクノロジ系(IT技術)などの学習を通して、IT・経営全般に関する理解を深めていく。

回	授業計画及び学習の内容
---	-------------

- 1 前期の総復習
- 2 ストラテジ系(経営全般)の応用1
- 3 ストラテジ系(経営全般)の応用2
- 4 ストラテジ系(経営全般)の応用3
- 5 ストラテジ系(経営全般)の応用4
- 6 ストラテジ系(経営全般)の応用5
- 7 マネジメント系(IT管理)の応用1
- 8 マネジメント系(IT管理)の応用2
- 9 マネジメント系(IT管理)の応用3
- 10 マネジメント系(IT管理)の応用4
- 11 テクノロジ系(IT技術)の応用1
- 12 テクノロジ系(IT技術)の応用2
- 13 テクノロジ系(IT技術)の応用3
- 14 テクノロジ系(IT技術)の応用4
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義形式がメインだが、各種試験の過去問題の演習も織り交ぜながら講義を展開していく。

IT教育における業界で活躍しているプロフェッショナル。

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	異文化コミュニケーション I	下田 智	2単位 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

言語を通して異文化理解に努め、ハングル及び基礎文法を学びながら、簡単な日常会話と自己紹介ができることを目的とする。

## 【講義概要】

韓国の生きた文化に触れながら理解を深めていき、何よりも「読む、書く、聴く、話す」力をバランスよく伸ばしてコミュニケーション能力を高めることを重要視する。

回	授業計画及び学習の内容
1	●挨拶及び自己紹介 ●ハングルについて簡単な説明
2	●1 ハングルの仕組理解 ●1 基本母音、字音(平音、激音、濃音)の読み書き①
3	●1 ハングルの仕組理解 ●1 基本母音、字音(平音、激音、濃音)の読み書き②
4	●1 ハングルの仕組理解 ●1 基本母音、字音(平音、激音、濃音)の読み書き③
5	●1 基本母音・字音(平音、激音、濃音)で作る単語の読み書き練習①
6	●1 基本母音・字音(平音、激音、濃音)で作る単語の読み書き練習②
7	●1 合成母音、バッチムの説明及び読み書き ①
8	●1 合成母音、バッチムの説明及び読み書き ②
9	●1 合成母音、バッチムで作られる単語の発音及び書く練習①
10	●1 合成母音、バッチムで作られる単語の発音及び書く練習②
11	●1 韓国語であいさつする(会った時、感謝の言葉、謝る時、別れる時)①
12	●1 韓国語であいさつする(会った時、感謝の言葉、謝る時、別れる時)②
13	●1 前回の復習 ●1 韓国語で自己紹介する
14	●1 前期講義の復習
15	●1 定期試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。(中間テスト40点、定期試験40点、授業への参加・意欲20点)

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

本授業では、文法・語彙のインプットを行った後、それをもとに会話文を作成し、ロールプレイなどの演習を通じて実践的な会話表現力を養成します。授業は基本的に韓国語で行いますが、学生の理解度に応じて柔軟に対応します。

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	異文化コミュニケーションⅡ	下田 智	2単位 時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
言語を通して異文化理解に努め、ハングル及び基礎文法を学びながら、簡単な日常会話と自己紹介ができることを目的とする。			
<b>【講義概要】</b>			
韓国の生きた文化に触れながら理解を深めていき、何よりも「読む、書く、聴く、話す」力をバランスよく伸ばしてコミュニケーション能力を高めることを重要視する。			
回	<b>授業計画及び学習の内容</b>		
1	● 名詞(肯定文、否定文、疑問文)の説明及び書く練習①		
2	● 名詞(肯定文、否定文、疑問文)の説明及び書く練習②		
3	● 韓国の簡単な日常会話を練習①		
4	● 韓国の簡単な日常会話を練習②		
5	● 動詞・形容詞(肯定文、否定文、疑問文)の説明及び書く練習①		
6	● 動詞・形容詞(肯定文、否定文、疑問文)の説明及び書く練習②		
7	● 基本文法のまとめ ● 時間・数字の説明及び書く練習①		
8	● 基本文法のまとめ ● 時間・数字の説明及び書く練習②		
9	● 韓国飲食店で料理を注文する ● スーパーで買い物する①		
10	● 韓国飲食店で料理を注文する ● スーパーで買い物する②		
11	● 今まで学んだ韓国語の語彙テスト		
12	● 実践会話①		
13	● 実践会話②		
14	● 試験の重要ポイントをまとめる		
15	● 定期試験		
<b>【成績評価方法】</b>			
講義全体を100点満点として採点する。(中間テスト40点、定期試験40点、授業への参加・意欲20点)			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
本授業では、文法・語彙のインプットを行った後、それをもとに会話文を作成し、ロールプレイなどの演習を通じて実践的な会話表現力を養成します。授業は基本的に韓国語で行いますが、学生の理解度に応じて柔軟に対応します。			

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際教養学科(2年制)国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	国際関係論 I	関谷 俊郁	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

国際政治史を理論の観点から分析する能力を醸成する。

## 【講義概要】

国際社会が成立したウェストファリア体制以後について指導する。国際社会を国際秩序や諸理論を通し観察することで、俯瞰的に歴史をとらえる素養を涵養する。

## 回 | 授業計画及び学習の内容

- 1 主権国家体制の確立
- 2 ウィーン体制の成立と崩壊
- 3 ヴィスマルク体制
- 4 第一次世界大戦の起源
- 5 第一次世界大戦の推移とその結果
- 6 戦間期
- 7 第二次世界大戦の起源
- 8 冷戦の起源
- 9 第二次世界大戦後の国際秩序
- 10 北大西洋条約機構(NATO)の成立
- 11 冷戦初期の東・東南アジア情勢
- 12 旧植民地の独立と経済発展
- 13 新冷戦
- 14 冷戦終結後の国際社会
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講師作成のレジュメを配布し講義形式で教授する。高校世界史の基本的知識が不可欠であるため、シラバスの内容から事前に予習してから講義に臨むこと。

防衛省での勤務経験のある国際経験豊富な講師が国際関係論の講義を展開

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際教養学科(2年制)国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	国際関係論 II	関谷 俊郁	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

国際政治史を理論の観点から分析する能力を醸成する。

## 【講義概要】

国際関係論Iで学習した内容に基づき、理論を学習する。

## 回 | 授業計画及び学習の内容

- 1 クラシカルリアリズム
- 2 ネオリアリズム
- 3 ネオクラシカルリアリズム
- 4 リベラリズム
- 5 リベラリズム2
- 6 マルキシズム
- 7 マルキシズム2
- 8 コンストラクティヴィズム
- 9 政策決定理論
- 10 安全保障
- 11 国際機関
- 12 国際政治経済学
- 13 国際政治と文化
- 14 冷戦終結後の国際社会
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講師作成のレジュメを配布し講義形式で教授する。国際関係論Iの基本的知識が不可欠であるため、シラバスの内容から事前に予習してから講義に臨むこと。

防衛省での勤務経験のある国際経験豊富な講師が国際関係論の講義を展開

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際教養学科(2年制)/国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	異文化理解 I	関谷 俊郁/浅野卓夫	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

グローバル化が進展する現在においては、異文化に接する機会が以前に比べ飛躍的に拡大している。このような現代社会において活躍できる人材を目指す。

## 【講義概要】

様々な文化におけるコミュニケーションの仕方を学び、異文化間でもよくおこる誤解などをケーススタディを通して学んでいく。

回	授業計画及び学習の内容
1	異文化理解とは
2	文化の定義①
3	文化の定義②
4	異文化への適応
5	シミュレーションを通じた異文化理解
6	「違い」の発見
7	異文化に対する認識
8	差別の種類
9	価値観をめぐる相克
10	異文化トレーニング
11	異文化への受容
12	非言語コミュニケーション
13	アサーティブコミュニケーション
14	多文化共生社会のあり方
15	期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

学生同士の積極的な参加とグループワークを特徴としており、アクティブラーニングを意識した授業を展開する。

防衛省での勤務経験を活かし、国際政治の現場を体験した講師、JICAや大学等の現地調査、異文化にかかわる書籍の出版に従事した講師が異文化理解論の講義を展開する

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際教養学科(2年制)／国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	異文化理解II	関谷 俊郁／浅野 卓夫	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

グローバル化が進展する現在においては、異文化に接する機会が以前に比べ飛躍的に拡大している。このような現代社会において活躍できる人材を目指す。

## 【講義概要】

様々な文化におけるコミュニケーションの仕方を学び、異文化間でもよくおこる誤解などをケーススタディを通して学んでいく。

回	授業計画及び学習の内容
---	-------------

- |    |                   |
|----|-------------------|
| 1  | 文化の位置づけ           |
| 2  | 異文化間のコミュニケーション    |
| 3  | 相対的価値観の意義         |
| 4  | 文化ごとの礼節の違い        |
| 5  | ハイコンテキストとローコンテキスト |
| 6  | 思考法の違い—原理優先か応用優先か |
| 7  | 権力のとらえ方の違い        |
| 8  | 企業の意思決定方式         |
| 9  | 感情表現              |
| 10 | 悪魔の代弁者アプローチ       |
| 11 | 時間に対する感覚の違い       |
| 12 | カルチャーショック         |
| 13 | 共生社会における過ごし方      |
| 14 | これからの多文化社会のあり方    |
| 15 | 期末試験              |

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

学生同士の積極的な参加とグループワークを特徴としており、アクティブラーニングを意識した授業を展開する。

防衛省での勤務経験を活かし、国際政治の現場を体験した講師、JICAや大学等の現地調査、異文化にかかわる書籍の出版に従事した講師が異文化理解論の講義を展開する

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養課程	国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	就職対策Ⅰ	吉川 知子	2単位
【授業の到達目標及びテーマ】			
社会人としての基礎から国際的なビジネスシーンにおける基礎的なスキルまで身に着ける			
【講義概要】			
日本社会での一般的な社会常識を理解し、「良好な人間関係を築くために必要なマナー」の基本を学ぶ。コミュニケーションの特徴を理解し、心を伝えるための表現力を身につける。「知っている・わかっている」から「普通にできる」ようになる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ビジネスに必要なコミュニケーション力		
2	日本のコミュニケーションと海外のコミュニケーションの違い①		
3	日本のコミュニケーションと海外のコミュニケーションの違い②		
4	日本のコミュニケーションと海外のコミュニケーションの違い③		
5	挨拶のポイントと場面にあった挨拶言葉①		
6	挨拶のポイントと場面にあった挨拶言葉②		
7	第一印象の重要性、相手に与える自分の印象①		
8	第一印象の重要性、相手に与える自分の印象②		
9	視覚に入る情報～身だしなみ／面接試験でのスーツの着方／基本的動作(姿勢・お辞儀・歩き方)／表情①		
10	視覚に入る情報～身だしなみ／面接試験でのスーツの着方／基本的動作(姿勢・お辞儀・歩き方)／表情②		
11	聴覚に入る情報～敬語の基本／感じの良い話し方／発音・活舌トレーニング①		
12	聴覚に入る情報～敬語の基本／感じの良い話し方／発音・活舌トレーニング②		
13	指示の受け方・報告の仕方①		
14	指示の受け方・報告の仕方②		
15	期末試験		
【成績評価方法】			
講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)30点、期末試験70点			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義と実践、演習を繰り返すことで社会人として恥ずかしくない態度が身に着くように指導する。			
様々な企業でのビジネスマナー等研修のプロ			

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養課程	国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	就職対策Ⅱ	吉川 知子	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

社会人としての基礎から国際的なビジネスシーンにおける基礎的なスキルまで身に着ける

## 【講義概要】

日本社会での一般的な社会常識を理解し、「良好な人間関係を築くために必要なマナー」の基本を学ぶ。コミュニケーションの特徴を理解し、心を伝えるための表現力を身につける。「知っている・わかっている」から「普通にできる」ようになる。

## 【回】 授業計画及び学習の内容

- 1 人間関係の構築とコミュニケーション力
- 2 電話応対／受け方・かけ方①
- 3 電話応対／受け方・かけ方②
- 4 名刺交換／席次／エレベーター乗降り／ドアの開閉①
- 5 名刺交換／席次／エレベーター乗降り／ドアの開閉②
- 6 履歴書のポイントと注意点、書き方①
- 7 履歴書のポイントと注意点、書き方②
- 8 ビジネスメールの種類とポイント、書き方①
- 9 ビジネスメールの種類とポイント、書き方②
- 10 指示の受け方～メモをとる、復唱確認の話し方①
- 11 指示の受け方～メモをとる、復唱確認の話し方②
- 12 報告の仕方～話し方
- 13 日本のコミュニケーションと海外のコミュニケーションの違い(演習①)
- 14 日本のコミュニケーションと海外のコミュニケーションの違い(演習②)
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)30点、期末試験70点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義と実践、演習を繰り返すことで社会人として恥ずかしくない態度が身に着くように指導する。

様々な企業でのビジネスマナー等研修のプロ

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養課程	国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	就職対策Ⅲ	吉川 知子	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

国際的なビジネスシーンにおいて活躍するために必要なコミュニケーションスキルを身に着ける

## 【講義概要】

日本の一般的な面接試験で重要視され求められる事柄を理解する。  
目の前の面接官と一瞬で良好な関係を築くための話し方、答え方、気持ちを伝えるための立ち居振る舞いなど、より効果的なコミュニケーション技法を体得する。  
準備していない質問や突飛な問いかけにも、それなりに対応できるようにする。

## 【回】 授業計画及び学習の内容

- 1 面接で必要とされるコミュニケーション力
- 2 基本的動作、表情①
- 3 基本的動作、表情②
- 4 基本的動作、表情③
- 5 面接試験での話し方、答え方のポイント①
- 6 面接試験での話し方、答え方のポイント②
- 7 面接試験での聞き方、聞く態度①
- 8 面接試験での聞き方、聞く態度②
- 9 個人面接での立ち居振る舞い①
- 10 個人面接での立ち居振る舞い②
- 11 集団面接での立ち居振る舞い①
- 12 集団面接での立ち居振る舞い②
- 13 模擬面接①
- 14 模擬面接②
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)30点、期末試験70点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義と実践、演習を繰り返すことで面接試験に対応できるコミュニケーション力を育成する。

様々な企業でのビジネスマナー等研修のプロ

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養課程	国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	就職対策Ⅳ	吉川 知子	2単位
【授業の到達目標及びテーマ】			
国際的なビジネスシーンにおいて活躍するために必要なコミュニケーションスキルを身に着ける			
【講義概要】			
日本の一般的な面接試験で重要視され求められる事柄を理解する。 目の前の面接官と一瞬で良好な関係を築くための話し方、答え方、気持ちを伝えるための立ち居振る舞いなど、より効果的なコミュニケーション技法を体得する。 準備していない質問や突飛な問いかけにも、それなりに対応できるようにする。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	コミュニケーションの重要性		
2	感じの良い話し方と敬語①		
3	感じの良い話し方と敬語②		
4	感じの良い話し方と敬語③		
5	面接試験における話し方・答え方①		
6	面接試験における話し方・答え方②		
7	面接におけるコミュニケーション①		
8	面接におけるコミュニケーション②		
9	模擬面接①		
10	模擬面接②		
11	模擬面接③		
12	模擬面接④		
13	模擬面接⑤		
14	模擬面接⑥		
15	期末試験		
【成績評価方法】			
講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)30点、期末試験70点			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義と実践、演習を繰り返すことで面接試験に対応できるコミュニケーション力を育成する。 様々な企業でのビジネスマナー等研修のプロ			

都作成参考例【国及び都が定める添付資料②】

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	パソコン演習 I	横山信午	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

オブザーバーとスイッチャーの役割を理解し、各種イベントの現場で即戦力となるような技術と、映像技術に対する独自の理論と方針・スタイルを持たせる。

## 【講義概要】

各種イベントにおける、技術スタッフの役割を理解する。  
オブザーバー・(Vmix)スイッチャーに関する技術の基礎知識・操作方法の初歩を学ぶ。

## 回 | 授業計画及び学習の内容

1	「自己紹介&ガイダンス 技術スタッフとは？」
2	「オブザーバーの仕事」
3	「ソフトウェアスイッチャーVmix 演習①」
4	「ソフトウェアスイッチャーVmix 演習②」
5	「ソフトウェアスイッチャーVmix 演習③」
6	「ソフトウェアスイッチャーVmix 演習④」
7	「ソフトウェアスイッチャーVmix 演習⑤」
8	「ソフトウェアスイッチャーVmix 演習⑥」
9	「ソフトウェアスイッチャーVmix 演習⑦」
10	「ソフトウェアスイッチャーVmix 演習⑧」
11	「ソフトウェアスイッチャーVmix 演習⑨」
12	「ソフトウェアスイッチャーVmix 演習⑩」
13	「ソフトウェアスイッチャーVmix 演習⑪」
14	「ソフトウェアスイッチャーVmix 演習⑫」
15	期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

実践演習を多く行った上で、実務で即活躍できるだけの能力を育てていく。

eスポーツ業界で活躍しているプロフェッショナル。

# 早稲田国際ビジネスカレッジ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化教養専門課程	国際コミュニケーション学科(2年制)	2026年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位数
専門基礎	パソコン演習Ⅱ	横山信午	2単位

## 【授業の到達目標及びテーマ】

オブザーバーとスイッチャーの役割を理解し、各種イベントの現場で即戦力となるような技術と、映像技術に対する独自の理論と方針・スタイルを持たせる。

## 【講義概要】

各種イベントにおける、技術スタッフの役割を理解する。  
オブザーバー・(Vmix)スイッチャーに関する技術の基礎知識・操作方法の初歩を学ぶ。

## 回 | 授業計画及び学習の内容

1	「自己紹介&ガイダンス 技術スタッフとは？」
2	「オブザーバーの仕事」
3	「リプレイオブザーバーとしてのVmix①」
4	「リプレイオブザーバーとしてのVmix②」
5	「リプレイオブザーバーとしてのVmix③」
6	「リプレイオブザーバーとしてのVmix④」
7	「リプレイオブザーバーとしてのVmix⑤」
8	「リプレイオブザーバーとしてのVmix⑥」
9	「リプレイオブザーバーとしてのVmix⑦」
10	「リプレイオブザーバーとしてのVmix⑧」
11	「リプレイオブザーバーとしてのVmix⑨」
12	「リプレイオブザーバーとしてのVmix⑩」
13	「リプレイオブザーバーとしてのVmix⑪」
14	「リプレイオブザーバーとしてのVmix⑫」
15	期末試験

## 【成績評価方法】

講義全体を100点満点として採点する。出席率(態度)50点、期末試験50点

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

実践演習を多く行った上で、実務で即活躍できるだけの能力を育てていく。

eスポーツ業界で活躍しているプロフェッショナル。